

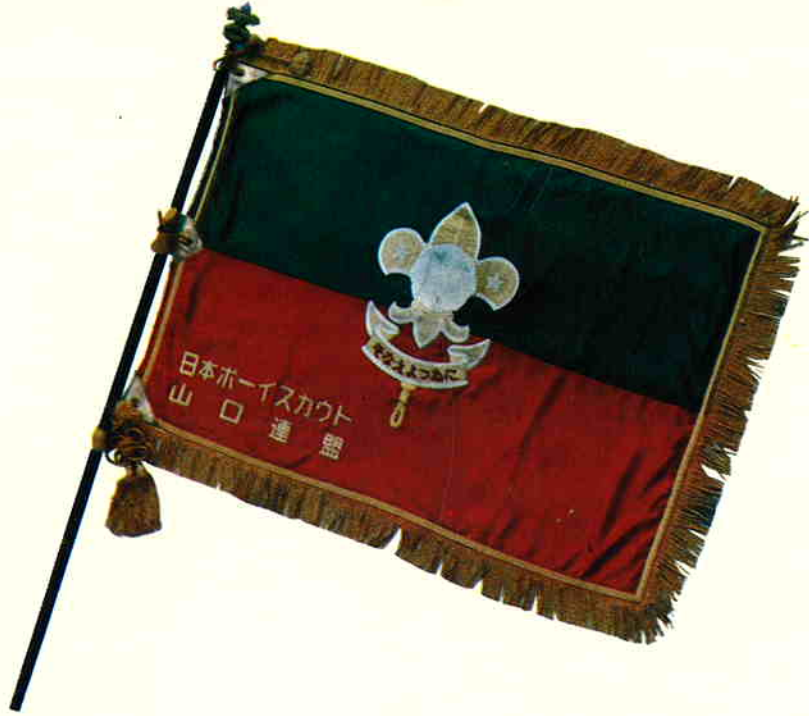
# 30年のあゆみ



ボーイスカウト山口県連盟



# 伝統に輝く山口県連盟旗



連盟歌

## 『百万一心の歌』

BS 岩国1団古果の会・詞  
村上智真・曲

一、花の心を 歌にのせ

百万一心 わが胸に

歌おう健児の 防長賦

いざいざスカウト われらが

連盟山口「山口」 光あり

二、手と手をつなぐ 友情の

目指す幟に 父祖の夢

三矢の訓 永久に

いざいざスカウト われらが

連盟山口「山口」 誇あり

三、世界を結ぶ この三指

捧げて悔いん 人のため

防長健児の 意気しめそ

いざいざスカウト われらが

連盟山口「山口」 名譽あり



## 30周年を記念して 山口県知事 平井 龍 連 盟 長

世界中の子供たちが、ひとしく幸福になることを願い「児童権利宣言」が採択されて本年は丁度20周年にあたり、この記念すべき年にボーイスカウト山口県連盟が輝かしい創立30周年を迎えたことは、まことに喜びにたえません。

昭和23年9月10日、山口市立白石小学校において、県下28隊のスカウトが、大同団結して発足した山口県連盟は、現在47団83隊を結成するに至りました。この間多数の代表者を国内外の大会に派遣し、善隣友好の実をあげるとともに、防長健児の意気をいんなく発揮してまいりました。

申すまでもなく、ボーイスカウトの活動はスカウト精神に基づく日常の実践にあります。ただいまは「県民運動の「たくましい防長っ子の育成」を具現するよう各団各隊及び隊員ともども積極的に取り組んで、日々研鑽を続けているところであります。

30年前を想い起こせば、あの当り、青少年を健全に育成するた  
ト運動の促進より外にないと決断  
県教育部長在任中に山口県連盟を  
のが昭和24年5月でした。そ  
日まで本連盟を育ててこられた先  
謝の意志を表するものであります。

理事長 大久保英夫  
お蔭で現在県下13市10ヶ町に  
渉り2800名のスカウトが活発な活動をしていることは、まことに嬉しい限りです。  
また県連盟の経済的基盤を確立し、スカウト活動が十分に推進出来るように県当局関係各市  
町村並びにスカウト関係者のご協力により、財団法人山口県スカウト運動維持財団が昭和4  
9年に設立されましたことは、県連盟を一層強化し更に大きな前進と飛躍になりました。

今年は国際児童年に当り、本連盟30周年の記念行事が行われますことは、誠に意義深くこの上もない喜びでございます。



30周年を迎えたこの時に当り、スカウト運動の原点を更に見極め  
真のスカウト作りに情熱を傾け、本県スカウト運動が発展するよう、  
関係各位の今後益々のご精進をお願い申しあげ、山口県連盟の弥栄を  
祈ってやみません。

この30年を顧りみますとき、終始山口県連盟発展のため、ご尽力いただいた先達の方々のご熱意とご労苦は筆舌に尽しがたく、こゝに改めて、哀心より感謝の意を表わすものであります。

このたび、県連創立30周年を記念して「30年の歩み」を刊行するに至りましたことは、まことに意義深いものがあり、嬉しい限りであります。創立以来のさまざまな出来事をじっくり回顧し、スカウト運動の具体的な歴史を学ぶことは、今後のスカウト活動にこの上ない指針になることと信じます。

本年8月には、30周年記念野営大会を防府市で開催し、結成の往時をしのびながら、互に交歓するとともに、今後の前進を確認し合ったことではありますが、更にスカウト諸君ならびに、その育成関係者各位の限りないご健闘をお願いするものであります。

ボーイスカウト山口県連盟の弥栄を祈念して、あいさつといたします。



終戦後の混乱した世情、その時に  
めには、歴史と伝統のあるスカウ  
された前連盟長故橋本正之先生が  
結成し、日本連盟に正式登録した  
れ以来献身的なご努力によって今  
輩諸先生に対し、深甚の敬意と感

お蔭で現在県下13市10ヶ町に

# ボーイスカウト運動によせて

参議院議員 小沢太郎  
2代目連盟長



ボーイスカウト山口県連盟が創立30周年を迎え「30周年のあゆみ」を発刊されること、まことに慶祝にたえません。

私は昭和28年から35年まで2代目の連盟長を勤めさせていただいたことでもあり、山口県連の今日の発展振りを、心から喜ぶ次第です。

顧りみますと、私の連盟長に就任した当時は、敗戦に続く被占領と云うわが国民にとって最もみじめな、物心共に荒廃し、打ちひしがれた時代を経て、講和条約の締結により、国民がようやく前途に一筋の希望をもちはじめた時期でありました。私は県知事として、県民がこの機運に当り、自主自立の精神に立ちかえり、自信をもって祖国の復興、地域社会への奉仕、そして自らの生活の充実に励むことを願って「新生運動」を押し進めておりました。この時県連盟が創立後日なほ浅いにもかかわらず、諸先輩やリーダー諸氏の努力によって、ボーイスカウトが生き生きと復活し、少年たちが活発な活動をはじめたことを、まことに心強く感じたのであります。錦帯橋畔の中国ブロック野営大会、各地区のキャンプファイヤーをはじめ、数々の思い出が今、私の脳裡を去来します。

ボーイスカウト精神が国民の新日本建設の願いの中に力強く脈打ってきたことを思い、当時のスカウトたちが、スカウト人の誇りを胸に今日各方面で活躍しておられることを思い、まことに感無量のものがあります。

私は昭和35年国会に出て以来今日まで、ボーイスカウト振興議員連盟の常任理事として微力をささげさせていただいております。

こゝにボーイスカウト山口県連盟の限りなき発展を祈って祝辞とします。



30.1.9 小沢連盟長を囲んで  
(理事会・小郡)

初代連盟長 田中龍夫(昭24年~27年)

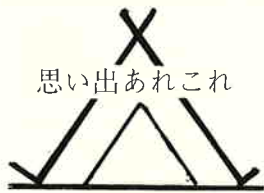
3代目連盟長 故橋本正之(昭35~51年)



24年夏 地方実修所指導者一同と  
田中連盟長(後列右ヨリ3人目)



昭和36年 県連総会であいさつの  
橋本連盟長



## 一歴代理事長一

初代 田村 保 (昭和23年)

2代目 水野文雄 (昭和24年～25年)

3代目 中田清一 (昭和26年～28年)



4代目理事長

河野章二  
(昭29年～34年)

### 第4回日本ジャンボリーの感激

時あたかも8月の猛暑、こゝ岡山県日本原に、3万人の若人を集め伸びゆく日本の将来を示すような大ドラマが展開された。期間中の3万人のスカウトが感激したのは8月7日皇太子、同妃殿下をお迎えして大行進を展開したあの時であらう。

ボーイスカウト専用のジープに皇太子旗をなびかせて会場にご到着、そしていつも美しい微笑の妃殿下と共に会場に進まれ、キャンプサイトでスカウト達が食事の用意をしているのをごらんになり「上手にできますか」と親しく声をかけられ、はげまされた。ジープには今は亡き石坂総裁、小林野宮長が同乗、

やがて晴れの大行進、それぞれの国や県の自慢のいで立ちでの大パレードをご覧になった。不肖私も本部員としてお立台のすぐ下で陪席して感激していた時、わが山口県500名のスカウトが明治百年と云う歴史に由緒深い防長健児が、高杉晋作往年の若武者姿を先頭に百万一心の旗じるしを手にしたパレード、側近の侍従と小林野宮長が話し合っておられるのを殿下が「あれは毛利ゆかりの山口県のスカウト達ですよ」と説明されるのを拝受、一層の感激に胸をうたれました。



第5代目理事長  
小島孝惇  
(昭35年～52年)

### 奇しき出会い

昭和34年夏、第10回世界ジャンボリーの山口県派遣団に加わり、帰国後直ちに琵琶湖畔アイバ野の第2回日本ジャンボリーに参加しま

した。雨の中をずぶぬれになって大行進したスカウト達の健脚は印象深いものがありました。同年9月河野理事長の後任として大役を引受け爾来19年、昨年5月その職を大久保先生に引継いでいただくことになりました。

回顧して昭和34年9月、当時県社会教育課長をしておられた大久保先生に、このたび理事長職をお渡しするとは奇しき出会いと思い、感無量のものがあります。その間数回の世界及び日本ジャンボリーに隊員を送り、次代を担う若手県連指導者が育ってきたことはうれしい限りです。

多年県案の財団も何とかめどがつくところまでできました。思い返して多年この道で交遊を賜った同志の方々に対し感謝の気持ちでいっぱいです。



# 連 盟 創 設 3 0 年 に 思 う



先達  
中丸岩吉

山口県連盟30周年を迎えましてお目どうのお祝を申し上げます。

昭和22年7月28日戦後初めて山口県立科学博物館に古い指導者が参集してボーイスカウト研究クラブの規約を作りました。その時の出席は田村保、宮本正次、五嶋光蔵、隅田悟郎、小島孝悫、中田清一、中丸岩吉、河村敬二以上でした。

昭和23年7月3日山口県連盟の創立規約を作成して、連盟長に県知事田中龍夫先生、副連盟長には教育部長の橋本正之先生にお願いすることに決定いたしました。

今日県連盟が発展しましたのは初代理事長田村保先生、つづく中田清一、河野章二、小島孝悫、大久保英夫各先生のご指導が今日に至ったのです。それには県連役員の皆様方のお力は申すまでもありませんが、東から小島、田村、宮本、桑原、永松、河野、岡寺、太田、永久、亀山横山、隅田、阿山、武内、安田、五嶋以上の先生のお力も大きなものでありました。



昭和二十四年  
指導者講習会のひとこま  
変装競争の故中田清一先生



第1回指導者講習会(当時中国実修所山口道場) 場)  
所長田村保 隊長中丸岩吉、中央本部今井ジョウジ  
昭和22年10月15日~21日 山口市法泉寺



指導者研究会 昭和23年1月15日~16日 山口市仏教会館  
講師日本連盟三島通陽理事長 関忠志先生  
GHQ米軍政教育部長オブライン氏



第2回地方実修所 昭和24年8月18日~24日 長沢道場  
鑄銭司村 長沢湖畔

## 昭和54年度ボーイスカウト山口県連盟役員名簿

役職名	氏名	住所	所属団	備考
連盟長	平井 龍	7 5 3 山口市滝町県庁内		県知事
副連盟長	井上 謙治	7 5 3 山口市後河原県教委内		県教育長
“	末山 正顕	7 5 5 宇部市桃山区平原		宇部興産役員
理事長	大久保英夫	7 5 3 山口市中央5丁目3-5		財政委員長
副理事長	益田 宗親	7 5 1 下関市山の田中央町9	下関 6	2地区理事 3地区理事
	井関 澄雄	7 4 5 徳山市相生町1の1	徳山 4	
	桑田 信行	7 4 7 防府市松崎町8-11		
地区代表理事1	中村 太郎	742・13 田布施町 米出	田布施 1	
4	須子 素秀	7 5 6 小野田市古開作5782	小野田 1	
5	安田 秋夫	759・65 下関市吉見上町211	下関 2	
6	津村 和彦	7 5 8 萩市堀内一区	萩 5	
学識経験者理事	東條 孝和	7 5 3 山口市後河原 県教委内		県社教課長
	小島 孝惇	7 4 1 岩国市岩国1-13-12	岩国 1	健康安全委員長
	河野 章二	7 4 5 徳山市若草町3-33	徳山 4	
	岡寺 正夫	7 4 5 徳山市月丘町3-10	同上	需品部長 進歩委員長 組織拡張委員長
	永松 省治	7 4 4 下松市元町東1248	下松 1	
	太田 耕作	7 4 7 防府市惣社町6-30	防府 1	
	永久 鉄哉	7 5 3 山口市古熊1-8-9	山口 2	
	松尾 尚之	7 5 8 萩市東田町	萩 5	
県コミショナー	武内 正一	7 5 1 下関市本町4-14-24	下関 1	
県副コミショナー	西村 柁一	800・03 荻田町尾倉神賀3282	山口 3	野営行事委員長
	古田 弘	759・41 長門市西深川板持	長門 1	
	村上 智真	7 4 2 柳井市新町	柳井 1	指導養成委員長
	上田 敬正	7 4 4 下松市古川町4-21	下松 1	
名誉会議議員	太田 耕作	前 掲		理事
	河野 章二	前 掲		理事
	岸村 正昭	7 4 0 岩国市通津2910	岩国 3	理事
	玉野二三雄	7 5 3 山口市湯田温泉1-3-22	山口 3	
	安田 秋夫	前 掲		
	横山 貞次	759・22 美祢市大嶺町奥分	美祢 2	
	滝川 常雄	7 5 5 宇部市東区草江		
監事	阿部 薫隆	7 4 7 防府市天神1-6-16	防府 1	
	西林 直輝	7 5 8 萩市古萩16	萩 4	
事務局長	亀山 俊雄	7 5 3 山口市滝町3-16	山口 3	



## ◇ ボーイスカウト山口県連盟事務局

所在地 753 山口市滝町3-16

電話 08392-4-0968

郵便振替 口座番号 下関4114

取引銀行 なし

## ◇ ボーイスカウト山口県連盟需品部

所在地 744 下松市元町東

永松省治方

電話 0833-41-0204

郵便振替 口座番号 下関8522

取引銀行 山口銀行下松支店

口座番号 普預 272678

## 財団法人 山口県スカウト運動維持財団

54年6月現在

役名	氏名	〒	住所	
理事長	末山正顕	755	宇部市大字藤曲344番地	宇部興産(株)相談役
副理事長	中津井精一	745	徳山市遠石1-5-50	日之出石油瓦斯(株)社長
"	二木和夫	759・02	宇部市厚南区黒石	山口県議会議員
常務理事	大久保英夫	753	山口市中央5-3-5	BS山口県連理事長
理事	河村五良	744	下松市西豊井751	山口県議会議員
"	野原清司	753	山口市下堅小路15-1	山口県議会議員
"	小島孝惇	741	岩国市岩国1-13-12	BS山口県連理事
"	宝城姫子	744	下松市大字河内2733	GS山口県支部役員
"	山本光	741	岩国市岩国2-3-4	岩国市土木協会々長
"	井森今助	742	柳井市大字柳井2808-8	柳井商工会議所会頭
"	林トヲ	751	下関市貴船町4-7-1	山口県連合婦人会々長
"	福田政則	759・41	長門市仙崎1142-10	福田漁業(株)社長
"	小沢登米子	753	山口市滝町2-5	GS山口県支部長
"	永久鉄哉	753	山口市古熊1-8-9	BS山口県連理事
"	大西賢一良	750	下関市西富町2268	旭運輸(株)社長
"	西林直輝	750	萩市古萩16	BS山口県連理事
"	岡寺正夫	745	徳山市月丘町3-10	岡寺産業(株)社長
"	吉野茂	759・22	美祿市吉則町	吉野製材所社長
事務局	松本俊昭	755	宇部市西本町1-12-32	宇部興産(株)本社厚生課長
監事	長嶺フミ	745	吉敷郡小郡町大字下郷 1277-4	GS山口県支部役員
"	太田耕作	747	防府市惣社町6-30	BS山口県連理事

## ◇ 山口県スカウト財団

所在地 755 宇部市西本町1-12-32 宇部興産株式会社労務部厚生課 0836・31・1111(代)

郵便振替 口座番号 下関1007 取引銀行 山口銀行宇部支店 普預 65084

# ボーイスカウト山口県連盟登録団一覽

	団名	隊	団委員長	隊長	L	S	団本部	備考
1 地 区	岩国 1	C	小島孝惇	新庄良男	12	28	741 岩国市岩国1-13-12 小島方	
	"	B		高山岳秀	3	25	"	
	"	S		小坂保博	3	23	"	
	"	R		高山克海	1	16	"	
	岩国 3	C	所 義光	岸村正昭	8	18	740 岩国市通津 通津小学校内	
	"	B		竹田幸司	7	31	"	
	"	S		増本真一	2	11	"	
	岩国 4	C	高田京三	杉山 汎	12	32	740 岩国市南岩国2-57-23 高田方	
	"	B		新沼潤一	3	21	"	
	岩国 5	C	沖井洋一	浅野知也	10	35	"	
	"	B		棟近 隆	3	34	"	
	柳井 1	C	村林 慧	井川宗人	6	51	742 柳井市尾ノ上 中央公民館内	S 班
	"	B		木村希男	3	12	"	
	柳井 3	B	桑原法道	井原善昭	5	12	742 柳井市片野 桑原方	
田布施 1	C	東南 浩	村田 要	5	14	742・15 田布施町長田 杉方	S 班	
	B		杉 猛	6	14	"		
熊毛 1	B	竹本泰造	瀬田忠夫	6	25	745・06 熊毛郡呼坂 熊毛町公民館内		
2 地 区	光 2	C	鈴木将由	山本 晃	18	15	743 光市中村住宅76号 山本方	C 2隊
	下松 1	C	永松省治	清綱秀信	14	45	744 下松市元町1248 永松方	C 2隊
	"	B		田中丸清治	2	42	"	S 班
	徳山 1	C	磯部勝由	石村信史	8	10	745 徳山市遠石2-3-1 遠石八幡宮内	
	"	B		磯村利昭	2	12	"	S 班
	徳山 4	C	藤本秀雄	明石誠一	11	36	745 徳山市相生町1-1 徳山青写真内	
	"	B		野崎俊明	3	25	"	
鹿野 1	B	青木順一	柏 博明	3	23	745・03 鹿野町 鹿野町公民館内		
3 地 区	防府 1	C	笹井武夫	英 孝道	15	36	747 防府市惣社町6-30 太田方	
	"	B		太田耕作	5	40	"	S 班
	防府 2	C	田中宏二	門田輝義	16	43	747 防府市佐野290-2 重川方	
	"	B		重川恭年	7	40	"	S 班
	防府 3	B	安田義雄	中島英夫	4	12	747 防府市牟礼坂本団地23-5542 中島方	53年度
	防府 4	B	島田 明	山田義昭	5	55	747 防府市華浦1-3-22 山田方	B 2隊
	防府 5	C	アルフォン	藤本 勲	5	17	747 防府市八王子1-26-27カトリック協会	S 班
	"	B		権代武治	5	12	"	
	防府 6	B	村上一夫	森重 豊	3	12	747・01 防府市奈美599 森重方	
	山口 1	B	永井 栄	中村 健	7	10	753 山口市道祖町2-8 中村方	53年度
	山口 2	B	寺田吉雄	杉田和則	3	12	753 山口市古熊1-8-9 永久方	S R班
	山口 3	C	玉野二三雄	大村隆一	15	42	753 山口市葵1-4-44 伊藤方	C 2隊
	"	B		伊藤 光	6	41	"	R 班
	"	S		武村雅純	1	15	"	
山口 5	C	山嶺 誠	石原辰夫	9	13	753 山口市亀山町4-1 山口カトリック教会内	S 班	
"	B		瀬川憲昭	2	12	"		

3地区	小郡 1	C	森重利雄	岡本恵達	7	38	754小郡町山手下 小郡公民館内	S 班
	"	B		引頭義男	3	15	"	
	秋穂 1	B	末貞 巖	佐野照輝	3	6	754・11秋穂町下村 中央公民館内	
4地区	宇部11	B	佐伯正道	佐伯正純	3	35	755宇部市松島町8-21 佐伯方	S 班 53年度
	宇部13	C	西山英雄	弘津秀治	9	45	755宇部市小串宇部窒素工場厚生係	
	"	B		福原道俊	4	22	"	53年度
	宇部14	C	村田隆介	末永宏和	3	36	755宇部市西本町興産本社人事課	
	"	B		蒲清隆	6	15	"	S 班
	宇部15	C	迫田義一	藤井秀幸	3	22	755宇部市琴芝町1-1-59カトリック教会	S R 班
	"	B		中脇慶一	3	17	"	
	宇部16	C	橋本秀夫	藤田武男	8	15	755宇部市松山町1-10-1世界救世教内	B 2隊
	"	B		山口保重	2	12	"	
	小野田1	C	須子素秀	松野盛夫	6	38	756小野田市新生町小野田教委社教内	S 班
"	B		勝田直	4	26	"		
"	S		山本光男	3	13	"		
山陽1	C	角清隆	檀寛治	7	28	757・01山陽町植生 堀方	S 班	
"	B		堀初義	4	28	"		
5地区	下関1	B	安実純一	片山恒己	4	11	751下関市上田中町1-15-1日新中学内	53年度
	下関2	B	原田一男	谷沢禎一	4	12	750下関市上新地町5-6-1文洋中学内	
	下関6	C	益田宗親	角中哲	6	78	751下関市山の田中央町山の田小学校	C 2隊 S 班
	"	B		榑崎則民	6	35	"	
	下関7	C	中島謙	長広昌夫	11	32	751下関市貴船町2-16-11 小林方	S 班
	"	B		森法房	3	22	"	
	下関11	C	市河稔	塚文成	6	25	752下関市長府町松小田2丁531-2吉武方	S 班
	"	B		吉武勇司	2	14	"	
	下関14	B	原能論	原得一	3	14	759・66下関市蒲生野町415妙蓮寺内	53年度
下関15	B	藤田武男	渡辺清尚	2	12	750・11下関市小月町1751小月神社内	53年度	
豊浦1	B	片山隆昭	植村賢一	2	10	759・64豊浦町湧田後地 片山方		
6地区	萩 3	B	松本誠人	岡崎弘明	4	7	758萩市江向3区 萩市中央公民館内	53年度
	"	S		宮本雅通	2	9	"	
	萩 4	B	西林直輝	吉見和芳	5	8	758萩市細工町 岡方	S 班
	萩 5	C	津村和彦	窪井隆次	3	21	758萩市堀内1区 春日神社内	
	"	B		木村和夫	4	23	"	S 班
	萩 6	C	後藤泰昭	波多野恵見	7	27	758萩市西田町 萩別院内	
	"	B		河野宗昭	4	22	"	53年度
	萩 7	C	河野泰光	伊藤直子	8	10	759・36萩市大井庄屋 中原方	
	"	B		西元勇	3	12	"	53年度
	長門1	B	藤田辰治	松浦静信	3	9	759・41長門市仙崎南町仙崎支所内	S 班
美祢2	B	茶川二郎	福島繁雄	3	8	759・22美祢市伊佐町本町 大室方	53年度	
三隅2	B	新町光広	池信宏	6	36	759・38三隅町野波瀬 極楽寺内	S 班	
須佐1	B	岩本正臣	工藤岩槌	7	11	759・34須佐町 須佐公民館内		

年 表

1 9 4 7

1 9 4 8

1 9 4 9

昭 和	2 2	2 3	2 4
行 事 大 会	県、過去のスカウト指導者の調査を開始 スカウト関係者初会合 県立科学博物館 (10名)	ボーイスカウト山口県連盟創立・結成式 (9 / 11 山口師範講堂) 第 1 回山口県大会 (9 / 10) 経専グラウンド	山口県大会 山口市駅前 通
ジャンボリー			第 1 回全国大会 皇居前 20名参加
県連総会 ブロック会議		発足初理事会	山口市本願寺会館
講 習 会	1 回 山口市山口道場 2 回 山口市法泉寺	3 回 山口市本願寺会館 4 回 下関市勝山 5 回小野田中川山手	6 回 山口市嘉川 7 回 大島郡小松笠佐 島 8 回湯本 大寧寺
研 修 実 修	B S 研究クラブ規約制定	第 2 回中国実修所 長沢道場	第 1 回特修実修所 2 名
事 務 局 需 品 部	山口市金古曾町 河村 方	県社会教育課内 中所 泰	中所 泰
日本連盟 のうごき	ボーイスカウト日本連盟として発足		正式加盟登録受付開始 加盟隊524スカウト1万人突破
内 外 の う ぎ き	6.3 制発足新制中学開校 日本国憲法施行 古橋 4 0 0 米競泳で世界新	教育委員会発足、旧制中学校全日制高校に 帝銀事件、朝鮮南北分割	皇太子殿下岩国萩秋芳洞見学、山口大学開校 1ドル360円レート



皇太子殿下をお迎え激励のおことばを受ける

昭24年4月7日 山口市

第 8 回ボーイスカウト公認指導者  
養成講習会 24年11月 湯本大寧寺



1950

1951

1952

25	26	27
県連結成3周年記念 山口県大会 山口経専グラウンド	第3回山口県大会 下関市野球場 第1回中国ブロック大会 岡山市朝日高校	
第2回全国大会 新宿御苑 1隊長五島 2隊長河野 70名	第3回全国大会 蔵王山70名 第7回WJ (オーストラリア) 2名	
		宇部市
9回 長府毛利邸 10回 三隅町明峰寺 11回 岩国市灘小学校 12回 山口市古熊善正寺	13回 宇部市教念寺 14回 防府市阿弥陀寺 15回 徳山市櫛ヶ浜蓮生寺	16回 光市室積
第1回中央実修所 (山中)		第5回中央実修 1名 第6回 " 3名 中国地方研修 三井野原
森 基教	森 基教	森 基教
国際事務局に登録	菊、隼、富士課程制正	年長、カブ訓練実施要綱制定
キジャ台風襲来、錦帯橋流失 千円札発行、満年令呼称始まる 朝鮮戦争勃発	ルース台風 民間放送開始 対日講和条約調印 児童憲章制定	李承晩ライン宣言 NHK「君の名は」放送 15回オリンピック (ヘルシンキ)



← 歌の練習



← 16回講習会本部



第11回指導者講習会 昭25年8月27～30日

岩国市 灘小学校

1953

1954

1955

28	29	30
第2回中国ブロック大会 広島市総合グラウンド	第4回山口県大会 徳山市毛利公園	第3回中国ブロック大会 岩国市錦帯橋畔
		第8回WJ カナダ
小郡町公民館	防府市 毛利邸	防府市 毛利邸
	岡山市	広島市双葉の里
17回 宇部市教念寺	18回 小郡町妙堪寺 19回 仙崎 青海島小学校	20回 下松高等学校
中国研修所 大山道場		5回中国地方研修 金光 2名
宇部市兼安哲丸	下松 永松	下松 永松
全都道府県にBS隊組織結成		第1回全国指導会議(ユネスコ村) 第1回1級スカウト富士訓練
NHKテレビ放送開始	洞爺丸事件 ビキニ水爆被災事件	山口県人口16,098,399人 温見ダム完成 トランジスタラジオ登場



17回指導者講習会  
宇部市教念寺



昭29年度 県連総会

防府市毛利邸

20回講習会開講式 下松高校

1956

1957

1958

31	32	33
第7回国土緑化大会植樹祭 奉仕 防府市	西日本大会 松江市宍道湖畔	山口県ボーイスカウト ガールスカウト合同野営大会 萩市 指月公園
第1回日本ジャンボリー 軽井沢 200名参加	9回WJ(英)BS運動50年 BP生誕100年	
小郡公民館	防府市 毛利邸	山口市 山泉荘
湯田 かめ福	松江市 岩田屋	玉造 松ノ湯
21回 萩市東光寺	22回 岩国市本能寺 第1回カブ 下松市浜田旅館	23回 美祢 於福公民館 2回カブ 岩国市
	第1回中国地方実修所 宮島 第1回日本ギルエルBS (河野)	
下松 永松	下松 永松	下松 永松
	日本ギルエル実修所開設	第1回年長富士訓練
ラジオ山口放送開始 日ソ国交回復 第1次南極観測船宗谷出発	佐波川ダム完成 ソ連人工衛生打上げ	関門国道トンネル開通 東京タワー完成・1万円札発行  第3回アジア競技大会



植樹祭奉仕スカウトの荷物運搬 ◀



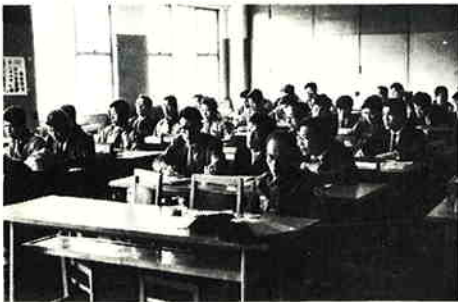
第一回カブ講習会



→ 23回講習会



34	35	36
第10回WJ (マニラ) 10名参加		西日本大会 岡山県 ひるぜん高原 (403名参加)
第2回日本ジャンボリー 滋賀県アイバ野	アメリカジュビリジャンボリー コロラド・スプリングス岩国2名	
防府市 毛利邸	小郡公民館	小郡公民館
鳥取市	広島市	山口市
24回BS 宇部東岐波公民館 25回BS 山口市宮野常栄寺 3回CS 通津公民館	26回BS 萩市中央公民館 27回BS 柳井中学校 4回CS 石城山	28回BS 下関市日新中学校 5回CS 宇部東岐波公民館
中国地方実修BS1 3名	中国地方実修BS2 ギルエルBS4 (太田・横山) ギルエルCS1 (小島)	中国地方実修CS1 石城山 ギルエルBS5 (森口) " BS6 (中板)
下松 永松	岩国 小島 下松 永松	岩国 小島 下松 永松
	第1回青年スカウト合同野営 ローバームート実施	
NHK防府局テレビ・ラジオ 山口放送開始・メートル法 施行・皇太子ご成婚・岩戸 景気	県体育館完成 岩日線岩国-河山間開通 ローマオリンピック カラーテレビ本放送開始	関釜航路再会 ソ連人間衛生打上 米人間ロケット打上



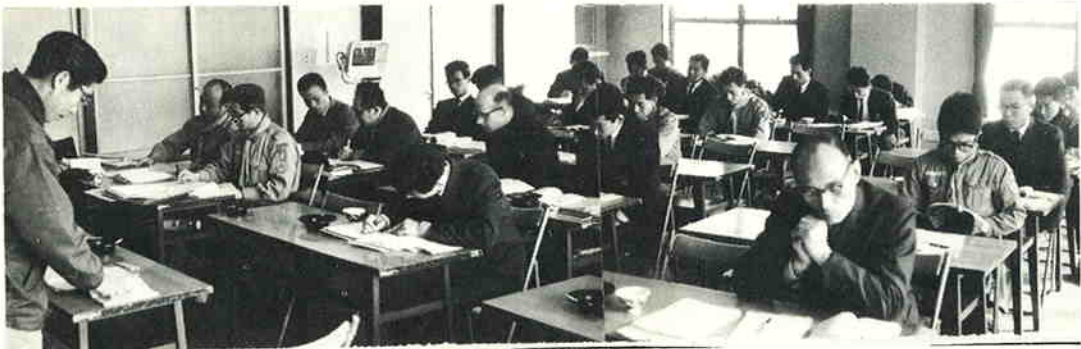
昭35 講習会参集の各隊長  
進歩制度改正説明



昭36年中国ブロック会議出席者 山口県引受当番 山口市



37	38	39
	第6回山口県大会 防府航空自衛隊 (国体奉仕活動実技研修大会) 国体奉仕 年長富士訓練17名	
第3回日本ジャンボリー御殿場 (第1回アジア大会) 506名	11WJ ギリシヤマラソン 岩国1名	
山口市 山泉荘	山口市防長苑	山口市山泉荘
	松江市	鳥取市 白兔荘
29回BS 防府市阿弥陀寺 30回BS 美祢市於福公民館 31回BS 石城山訓練所	32回BS 秋穂中学校	6回CS 大島海洋訓練所 33回BS 宇部市青年の家
中国地方実修BS3 三井野原 ギルエルBS7 (古田・岡寺)	中国地方実修 岡山県 ギルエルCS4 (永松)	中国地方実修BS5 広島 ギルエルCS8 (西村)
下松 永松	下松 永松	下松 永松
山口 杉本	山口 杉本	山口 杉本
川上ダム完成 県旗、県民の歌制定 東京などスモッグ騒ぎ	第18回国民体育大会 岩日線河山ー錦町間開通 新千円札発行	山陽本線全線電化 東海道新幹線開通 第18回東京オリンピック 新潟大地震



昭39年指導者研修会 (防府)

昭38年県連総会→



1965

1966

1967

40	41	42
	青少年（紹介）展示会出品 （八木百貨店）	（第7回山口県大会） 少年幹部研修大会 宇部トキワ湖畔（200名）
台湾ボーイスカウト派遣1名	第4回日本ジャンボリー 岡山県日本原	12WJ米アイダボ （3名）
岩国市 米平旅館	徳山市 湯野温泉	山口市 柳井旅館
岡山市 まびき荘	広島市 郵政会館	山口市 翠山荘
35回BS 美祢市於福公民館 7回CS 石城山訓練所12名	36回BS 鹿野町学校寄宿舎	37回BS 周東町 通化寺30名 38回BS 山口市 禅昌寺25名 8回CS 石城山 14名
中国地方実修BS6大波野 28名	中国地方実修	中国地方実修BS8 大山 " BS9 広島 ギルエルB16（武内亀山満長永久）
下松 永松	下松 永松	下松 永松
山口 杉本	山口 杉本	山口 杉本
登録加盟員数10万人突破 三島総長死去	日本ボーイスカウトアマ無線 クラブ発足	加盟13万4727名 世界96ヶ国中第10位
松山-松山間フェリー就航 青海大橋完成	管野ダム完成 宇部空港開港	中東戦争始まる。



朝の点検 実修所BS6期



昭41年初理事会（宇部興産本社）



←36回指導者講習会



1968

1969

1970

43	44	45
第1回九州野営大会 熊本県 128名参加	県連創立20周年野営大会 玖珂町 鞍掛 創立20周年記念式典 白石小学校	万国博スカウトデー参加 20名
		第5回日本ジャンボリー 朝霧高原 382名参加
宇部市勤労青少年会館 玉造 皆美旅館	下関市中央公民館 鳥取市 新温泉	美祢市 ガン飛荘 岡山市 桃花苑
39回BS 光市福祉センター30名 40回BS 下関長府 正円寺22名	41回BS 大島海洋訓練所 41名 9回CS 通津公民館 15名	11回CS 下関市吉見公民館13名 12回CS 岩国青年の家16名
中国地方実修CS2 金光 ギルエル19BS (野川)	ウッドバッチ研修C1 広島工大	WB研修九州BS2 (2名) ギルエル23BS (山田)
山口 永久鉄哉 山口 杉本	山口 永久 山口 杉本	山口 永久 山口 杉本
	ギルエルをウッドバッチと改正 新カブ制度実施	スカウト会館完成 久留島総長死去
関門大橋起工 霞ヶ関超高層ビル完成 3億円事件	山口衛星通信所開局 上関大橋完成 アポロ11号月面着陸成功	笠戸大橋完成・テレビ山口 放送開始・日本万国博覧会 開催・日本の人口1億人突 破

総会説明の前永久事務局長 昭43



県連20周年記念式典 白石小学校講堂

1971

1972

1973

46	47	48
財団法人設立準備	日連50周年記念山口県大会 1. 田布施大波野 2. 萩市阿武の松野営場 3. 小野田市江汐野営場	山口県スカウト財団発足
13回世界ジャンボリー 朝霧高原148参加		
柳井市 瑞相寺	徳山市 中央地区公民館	防府市観光ホテル
広島市	岩国市	玉造
42回 BS 平生町大野公民館 22名	43回 BS 防府市阿弥陀寺 17名 13回 CS 萩市 萩別院 17名	44回 BS 宇部市青年の家27名 14回 CS 岩国市 " 12名
WB 研修中国 BS 1 (下関) 23名 ギルエル BS (宮本)		ギルエル 28 BS (津村)
山口 永久	山口 永久	山口 永久
山口 杉本	山口 杉本	山口 杉本
山中野営場 新館落成 中村 知死去 県事務の電化始まる ドルショック1ドル308円	日連50周年式典(明治神宮) 沖縄 BS 日本連盟へ移行 欽明路有料道路開通 新幹線岡山まで開通 浅間山荘事件 沖縄復帰	日連試験研究法人として発足 関門橋完成、下関一小月開通 維新百年記念公園開園 石油危機と消費規則



昭48年県連総会



1974

1975

1976

49	50	51
山口県スカウト財団登記完了 富士スカウト誕生 萩3 田子 山口3 佐伯	海洋博世界青少年大会 2名 桜井副理事長死去	第10回山口県大会 山口市 橋本連盟長をしのぶ会 山口 (連盟長死去) 第1回スカウトの歌研修会防府
第6回日本ジャンボリー 北海道 千歳原 174名参加	14WJ ノルウェー 3名 オーストラリアSS大会 1名	バクティル招待計画 1名 日米スカウト交歓 1名
宇部市勤労青少年会館	下関市 中央公民館	萩市 市役所会議室
鳥取県皆生	岡山市	広島市
45回BS 下関市青年の家 35名 46回S 柳井市ルンビニ保育園15名 15回CS 徳山市立正佼成会42	47回BS 萩市 萩別院 27名 16回CS 秋穂町公民館 45名 17回CS 下関市青年の家22名	48回BS 岩国市青年の家 28名 18回CS 宇部市 " 37名 19回CS 防府市アーチェリランド 31名
WB研修BS 山口1大波野18名 ギルエル20CS (亀山)	ギルエル34BS (亀山善文) " 36BS (上田) " 23CS (小林) WB研修CS BS SS 15名	WB研修BS 石川5 2名 " CS山口1 27名 " BBS 四国2 5名 " SS九州1 1名
山口 亀山俊雄	山口 亀山	山口 亀山
山口 杉本	6/30杉本 →下松移管	下松 永松
石坂総裁葬儀 スカウト週間の設定		世界スカウト人口113ヶ国 12,979,230名
中国自動車道小月-小郡開通	新幹線岡山→博多間開通 阿武川ダム完成 沖縄海洋博	大島大橋開通 天皇在位50年記念式典 ミグ25号事件



◀ 15回CS講習会 徳山



1977

1978

1979

5 2	5 3	5 4
7 N J 特別委員会設置 第2回スカウトの歌研修会 (防府) 指導者、団委員、カブ指導者 研修会	第3回 歌研修会 柳井 救急法講習会開設説明会 スカウト週間 5月	第11回山口県大会 6月 県連創立30周年記念野営大会 8月 防府航空自衛隊 記念祝賀会 11月山口市
	第7回日本ジャンボリー御殿場 260名	
山口市 防長苑	岩国市ヤクルト岩国支店	小郡町 小郡公民館
山口市	松江市	鳥取市
49回BS 徳山青年館 19名 20回CS 山口市宮野 20名 50回BS 下関市青年の家 24名	51回 宇部青年の家 26 注 本年より制度改正に よりCBS共通となる	2回三隅町 14名
WB研修SS 島根 1講師派遣と " BS 広島 3 " " CS 岡山 3 "	WB研修CS 滋賀 (2名) 団委員長研修 2 (2名) WB研修CS 広島 3 (4名)	WB研修BS 山口 (名)
山口 亀山	山口 亀山	山口 亀山
下松 永松	下松 永松	下松 永松
B P 生誕 120年	スカウティング誌300号(7月)	世界ジャンボリーの年 (イラン開催休止)
赤軍日航ハイジャック 有珠山大噴火	成田空港開港 日中友好条約	宇宙科学博覧会 国際児童年

昭54年県連総会表彰式



# スカウト戦前史



「日本連盟50年のあゆみ」より

年代	日本年号	日本のうごき	海外のうごき	
1857	安政 4		2月22日ベーデンパウエル(B-P)誕生	
1907	明治39		B-P 卿少年と実験キャンプ実施(ブラウンシ島)	
1908	40	北条広島高師校長、牧野文相の命によりスカウト運動研究	スカウティングフォアボーイズ刊行、無名スカウトの善行でアメリカへ伝わる	
1912	43	乃木大将BPと会見スカウト活動視察	ウルフカブがはじまる。 ギルエル実修所開設(英) ロンドン33ヶ国8千名	
1913	大正 2	東京に少年軍団設立		
1914	4	京都、旭川、沼津、大阪、福島、富山など数府県で少年団発足		
1916	5			
1918	8			
1920	9	第1回世界ジャンボリー 3名参加		
1921	10	皇太子(今上陛下)渡欧 BP 謁見		
1922	11	少年団日本連盟設立(静岡)本部文部省 総裁 後藤新平 現事長 二荒芳徳		
1924	13	第1回全国総会 連盟歌「花はかおるよ」 採用 海洋部を創設		第2回WJ デンマーク28名
1925	14	第1回指導者実修所開設(山中) ちかい、おきて制定 長府少年団発足		
1927	昭和 2	竹崎少年義勇団発足(団長 中丸岩吉)	第3回WJ イギリス 2名  第4回WJ ブダベスト9名  第5回WJ オランダ 11名 1月8日ベーデンパウエル 卿ケニアにて逝去 84才	
1929	4			
1930	5	岡山ご親閲補助奉仕団(中丸河野参加)		
1932	7	陸軍の一部より三指礼について非難		
1933	8			
1935	10	財団法人大日本少年団と改称 幼年隊、少年隊、青年隊の3部制発足		
1937	12			
1941	16	1/16大東亜戦争たけなわとなり、各青少年団体を「大日本青少年団」に統合した 大日本少年団連盟の資産を継承し健志会となる。これが後日再建の基になる。		
1945	20	終戦		
1946	21	三島通陽らボーイスカウト研究会を開き BSクラブ設立		



WJ=世界ジャンボリーの略

## 歴代県連盟役員名簿

年	23	24	25	26	27	28	29	
連盟長		田中龍夫	田中龍夫	田中龍夫	田中龍夫	小沢太郎	小沢太郎	小沢太郎
副連盟長						安野春美	安野春美	安野春美
理事長		水野文雄	水野文雄	中田清一	中田清一	中田清一	河野章二	河野章二
副理事長		兼安哲丸						
理事	局長 中所 泰 総主事 森 基教 企画部 沖村重誓 石川正英 指導部 五嶋光蔵 宮本正次 隅田悟郎 兼安哲丸 森 基教 総務部 隅田石川	森 基教	兼安哲丸 中丸岩吉 中田清一 宮本正次 森 基教 五嶋光蔵 隅田悟郎 小島孝惇 沖村重誓 河野章二	“	“	西村 滋 中丸岩吉 小島孝惇 桑原法道 河野章二 田中為一 兼安哲丸 隅田悟郎 五嶋光蔵	岡田 隆 落合重人 田中為一 隅田悟郎 一二三市江 桑原法道 小島孝惇 五嶋光蔵 宮本正次	“
監事	“		中所 泰 伊藤理基				中丸岩吉 安部義正	中丸岩吉 安部義正
名誉会議員						縄田正隆 水野文雄 右田一夫 中田清一 片山正乘	田中龍夫 中田清一 片山正乘 田村 保	田中龍夫 中田清一 片山正乘 田村 保
県コミ						太田耕作	太田耕作	太田耕作
副コミ						永松省治 榎木久雄	榎木久雄	榎木久雄
事務局長		中所 泰	森 基教	森 基教	森 基教	兼安哲丸	永松省治	永松省治



# 歴代県連盟役員名簿

年	31	32	33	34	35	36	37	38
連盟長	小沢太郎	小沢太郎	小沢太郎	小沢太郎	小沢橋本	橋本正之	橋本正之	橋本正之
副連盟長	安野春美 藤本菊二	安野春美	藤本菊二	藤本菊二 末山正顕	藤本菊二 末山正顕	藤本菊二 末山正顕	藤本菊二 末山正顕	藤本菊二 末山正顕
理事長	河野章二	河野章二	河野章二	河野章二	小島孝悫	小島孝悫	小島孝悫	小島孝悫
副理事長		小島孝悫	小島孝悫 隅田悟郎	小島孝悫	宮本正次 五嶋光蔵	宮本正次 五嶋光蔵	滝原常雄 岡寺正夫	滝原常雄 岡寺正夫
理事	岡田 隆 後藤泰一 桑原法道 宮本正次 一二三市江 隅田悟郎 小島孝悫 田中為一 中板孝祐 辻野浩二 五嶋光蔵	"	桑原法道 森口泰助 古田 弘 五嶋光蔵 清水賢三 辻野浩二 宮本正次 大久保英夫 永松省治	"	河野章二 長富春一 森口泰助 藤井英夫 古田 弘 永久鉄哉 佐伯正道 岡寺正夫 阿山勇祐 中村万寿夫 松永常一 大久保英夫 桑原法道 中丸岩吉 永松省治 三木吉生	桑原法道 岡迫孝雄 田村敏雄 永松省治 岡寺正夫 永久鉄哉 長富春一 佐伯正道 中板孝祐 阿山勇祐 古田 弘 松永常一 大久保英夫 河野章二 中丸岩吉	松永常一 大久保英夫 中丸岩吉 河野章二 五嶋光蔵 宮本正次 岡迫孝雄 永松省治 長富春一 佐伯正道 伊藤郁郎 古田 弘 他に 各市理事 13名	松永常一 大久保英夫 中丸岩吉 河野章二 西村直輝 桑原法道 永松省治 長富春一 佐伯正道 阿山勇祐 村木清治
監事	安部義正 木坂清一	安野義正 桑原光広	河野一雄 横山貞次	河野一雄 辻 博顕	河野一雄 辻野浩二	河野一雄 中村政一	河野一雄 森重利雄	河野一雄 阿部義正
名誉会 議委員会	田中龍夫 片山正乗 中丸岩吉 毛利元道 水野文雄	田中龍夫 片山正乗 中丸岩吉 毛利元道 水野文雄	田中為一 中丸岩吉 毛利元道 片山正乗 丸茂 忍	田中為一 中丸岩吉 毛利元道 片山正乗 丸茂 忍	田中龍夫 田中為一 小沢太郎 福田泰三	安東一光 辻 博顕 石津勝治	安東一光 辻 博顕 石津勝治 安部義正 中村政一	安東一光 辻 博顕 石津勝治 山根 勝
県コミ	太田耕作	太田耕作	太田耕作	太田耕作	太田耕作	太田耕作	太田耕作	太田耕作
副コミ	細田久雄 岡寺正夫	細田久雄 岡寺正夫	岡寺正夫	岡寺正夫 横山貞次 増永繁男	横山貞次 増永繁男 亀山俊雄	横山貞次 亀山俊雄	横山貞次 亀山俊雄	横山貞次 亀山俊雄 中板孝祐
事務局長	永松省治	永松省治	永松省治	永松省治	永松省治	小島孝悫	永松省治	永松省治

## 歴代県連盟役員名簿

年	39	40	41	42	43	44	45	46
連盟長	橋本正之	橋本正之	橋本正之	橋本正之	橋本正之	橋本正之	橋本正之	橋本正之
副連盟長	藤本菊二 末山正顕	藤本菊二 末山正顕	熊野 一 末山正顕	熊野 一 末山正顕	熊野 一 末山正顕	熊野 一 末山正顕	熊野 一 末山正顕	熊野 一 末山正顕
理事長	小島孝悳	小島孝悳	小島孝悳	小島孝悳	小島孝悳	小島孝悳	小島孝悳	小島孝悳
副理事長	滝原常雄 岡寺正夫	滝原常雄 岡寺正夫	原川 康 岡寺正夫	原川 康 岡寺正夫 永松省治	原川 康 岡寺正夫 永松省治	原川 康 岡寺正夫 永松省治	大久保英夫 西林直輝	大久保英夫 西林直輝
理事	荒瀬三郎 大久保英夫 河野章二 中丸岩吉 原川 康 永松省治 長富春一 徳永勝亮 阿山勇祐 村木清治	荒瀬三郎 大久保英夫 河野章二 中丸岩吉 原川 康 永松省治 長富春一 徳永勝亮 阿山勇祐 村木清治	荒瀬三郎 大久保英夫 河野章二 中丸岩吉 永松省治 川添常一 徳永勝亮 阿山勇祐 村木清治	作間淑郎 大久保英夫 河野章二 中丸岩吉 滝原常雄 川添常一 桜井 孝 阿山勇祐 村木清治	作間淑郎 大久保英夫 河野章二 中丸岩吉 永久鉄哉 川添常一 桜井 孝 阿山勇祐 西林直輝	作間淑郎 大久保英夫 河野章二 中丸岩吉 永久鉄哉 川添常一 桜井 孝 阿山勇祐 西林直輝	村瀬和徳 岡寺正夫 河野章二 中丸岩吉 永久鉄哉 八百屋常三郎 桜井 孝 大西賢一郎 原川 康 滝原常雄 永松省治	村瀬和徳 岡寺正夫 河野章二 中丸岩吉 永久鉄哉 八百屋常三郎 桜井 孝 上野泰義 原川 康 滝原常雄 永松省治
監事	河野一雄 森重利雄	河野一雄 森重利雄	河野一雄 森重利雄	河野一雄 森重利雄	河野一雄 森重利雄	河野一雄 森重利雄	河野一雄 森重利雄	河野一雄 森重利雄
名誉会 議員会	安東一光 山根 勝 石津勝治	安東一光 山根 勝 石津勝治 河野章二 五嶋光蔵	安東一光 山根 勝 石津勝治 河野章二 五嶋光蔵	安東一光 山根 勝 石津勝治 河野章二 五嶋光蔵	安東一光 山根 勝 石津勝治 河野章二 五嶋光蔵	安東一光 山根 勝 石津勝治 河野章二 五嶋光蔵	中丸岩吉 山根 勝 石津勝治 河野章二 五嶋光蔵	中丸岩吉 山根 勝 横山貞次 河野章二 桑原光蔵
県コミ	太田耕作	太田耕作	太田耕作	太田耕作	太田耕作	太田耕作	太田耕作	太田耕作
副コミ	横山貞次 亀山俊雄 中板孝祐	横山貞次 亀山俊雄 中板孝祐	横山貞次 亀山俊雄 中板孝祐	横山貞次 亀山俊雄 古田 弘	横山貞次 亀山俊雄 古田 弘	横山貞次 亀山俊雄 古田 弘	横山貞次 亀山俊雄 古田 弘	亀山貞次 武内 正一 村上智真
事務局長	永松省治	永松省治	永松省治	永久鉄哉	永久鉄哉	永久鉄哉	永久鉄哉	永久鉄哉

# 歴代県連盟役員名簿

年	47	48	49	50	51	52	53	54
連盟長	橋本正之	橋本正之	橋本正之	橋本正之	橋本正之	平井 龍	平井 龍	平井 龍
副連盟長	青木英一 末山正顕	青木英一 末山正顕	青木英一 末山正顕	青木英一 末山正顕	青木英一 末山正顕	井上謙治 末山正顕	井上謙治 末山正顕	井上謙治 末山正顕
理事長	小島孝悳	小島孝悳	小島孝悳	小島孝悳	小島孝悳	小島孝悳	大久保英夫	大久保英夫
副理事長	大久保英夫 西林直輝	大久保英夫	大久保英夫 桜井 孝	大久保英夫 桜井 孝	大久保英夫 岡寺正夫 益田宗親	大久保英夫 岡寺正夫 益田宗親	益田宗親 桑田信行 井関澄雄	益田 宗親 桑田信行 井関澄雄
理 事	山本武司 中丸岩吉 河野章二 原川 康 滝原常雄 永久鉄哉 八百屋三郎 岡寺正夫 長富春一 桜井 孝 上野泰義	山本武司 中丸岩吉 河野章二 原川 康 滝原常雄 永久鉄哉 八百屋三郎 岡寺正夫 長富春一 桜井 孝 上野泰義 永松省治 西林直輝	三井 茂 中丸岩吉 河野章二 原川 康 滝原常雄 永久鉄哉 西林直輝 岡寺正夫 永松省治 中村太郎 大庭竹雄 市河八五 上野泰義	中丸岩吉 河野章二 原川 康 滝原常雄 永久鉄哉 西林直輝 岡寺正夫 永松省治 中村太郎 安田秋夫 太田耕作 上野泰義 大庭竹雄	村岡 満 中村太郎 河野章二 原川 康 滝原常雄 永久鉄哉 松尾尚之 永松省治 桑田信行 須子素秀 安田秋夫 太田耕作 上野泰義	村岡 満 中村太郎 桑田信行 須子素秀 安田秋夫 上野泰義 河野章二 永松省治 永久鉄哉 滝原常雄 松尾尚之 太田耕作	東條孝和 中村太郎 須子素秀 安田秋夫 上野泰義 小島孝悳 河野章二 永松省治 永久鉄哉 太田耕作 松尾尚之	東條孝和 中村太郎 須子素秀 安田秋夫 津村和彦 小島孝悳 河野章二 永松省治 永久鉄哉 太田耕作 松尾尚之
監 事	河野一雄 森重利雄	河野一雄 森重利雄	河野一雄 森重利雄	河野一雄 森重利雄	河野一雄 阿部薫隆	西林直輝 阿部薫隆	西林直輝 阿部薫隆	西林直輝 阿部薫隆
名誉会 議 員 会	中丸岩吉 河野章二 横山貞次 桑原法道 山根 勝	中丸岩吉 河野章二 横山貞次 桑原法道 玉野二三雄	中丸岩吉 河野章二 横山貞次 桑原法道 玉野二三雄	中丸岩吉 河野章二 横山貞次 桑原法道 玉野二三雄	中丸岩吉 河野章二 横山貞次 桑原法道 玉野二三雄	岸村正昭 河野章二 横山貞次 太田耕作 玉野二三雄 安田秋夫	岸村正昭 河野章二 横山貞次 太田耕作 玉野二三雄 安田秋夫	岸村正昭 河野章二 横山貞次 太田耕作 玉野二三雄 安田秋夫 滝原常雄
県コミ	太田耕作	太田耕作	太田耕作	武内正一	武内正一	武内正一	武内正一	武内正一
副コミ	亀山俊雄 古田 弘 武内正一 村上智真	亀山俊雄 古田 弘 武内正一 村上智真	亀山俊雄 古田 弘 武内正一 村上智真	亀山俊雄 古田 弘 村上智真 西村樹一	西村樹一 古田 弘 村上智真	西村樹一 古田 弘 村上智真	西村樹一 古田 弘 村上智真	西村樹一 古田 弘 村上智真 上田敬正
事務局長	永久鉄哉	永久鉄哉	亀山俊雄	亀山俊雄	亀山俊雄	亀山俊雄	亀山俊雄	亀山俊雄

# 年度別登録状況一覧表

昭和54年 8月31日現在

団名	隊	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54		
第 1 地 区																																		
岩 国 1	C											●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
"	C 2																														●	●		
"	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
"	S																○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
"	R																																●	
岩 国 2	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
"	B 2																○	○																
"	C																●	●	●	●	●													
岩 国 3	C																																●	
"	C 2																																	●
"	B																																	○
"	S																																	○
岩 国 4	C																																	●
"	B																																	○
岩 国 5	C																																	●
"	B																																	○
和 木 1	B															○																		
玖 珂 1	B	○	○																															
玖 珂 2	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○																								
玖 珂 3	B	○	○	○																														
玖 珂 4	B		○																															
大 島 1	B	○																																
大 島 2	B	○																																
大 島 3	B	○	○	○																														
大 島 4	B	○	○																															
大 島 5	B	○	○																															
大 島 6	B	○																																
大 島 7	B	○																																
大 島 1	B																																	
周 東 1	B																○																	
柳 井 1	C																																	●
"	B	○	○																															○
柳 井 2	B																																	○
"	B 2																																	○
柳 井 3	B																																	○
熊 毛 1	B																																	○

団名	隊	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54								
田布施 1	C																				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●								
"	C 2																				●	●																		
	B															○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
	B 2															○	○																							
第 2 地区																																								
光 1	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
"	S																			◎	◎																			
光 2	C																															●	●							
"	C 2																																●							
下松 1	C																															●	●	●	●	●				
"	C 2																																		●					
"	B	○	○	○												○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
下松 2	B		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																									
下松 3	B		○																																					
徳山 1	C																																	●						
"	B	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
徳山 2	B		○													○	○																							
徳山 3	B					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																									
徳山 4	C																																	●	●	●	●			
"						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
鹿野 1	B																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
都濃 1	B		○	○																																				
都濃 2	B		○																																					
都濃 3	B		○	○																																				
第 3 地区																																								
防府 1	C																																	●	●	●	●	●		
"	B		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
"	B 2																			○	○	防府 2 へ分封																		
"	B 3																			○	○	防府 3 へ分封																		
防府 2	C																																		●	●	●	●		
"	B																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
防府 3	B																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
防府 4	B																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
"	B 2																																			○	○			
防府 5	C																																			●	●	●	●	●
"	B																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
防府 6	B																																				○			

団名	隊	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54				
山口 1	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
山口 2	B	○	○	○									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
"	S																	◎	◎	◎	◎	◎	◎													
山口 3	C																											●	●	●	●	●				
"	C 2																														●	●				
"	B	○	○	○	○								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
"	S																												◎	◎	◎	◎	◎			
山口 4	B	○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											
山口 5	C																														●					
"	B	○	○																				○	○	○	○	○	○	○	○	○					
山口 6	B	○	○	○																																
山口 7	B	○	○																																	
山口 8	B				○	○	○																													
吉敷 1	B	○	○																																	
吉敷 2	B			○	○	○	○	○	○																											
吉敷 3	B			○	○	○	○	○	○																											
小郡 1	C																			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
"	C 2																														●					
"	B									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
秋穂 1	B												○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
第 4 地区																																				
宇部 1	B	○	○																																	
宇部 2	B	○	○	○											○	○	○	○	○																	
"	B 2														○	○	○	○																		
宇部 3	B		○	○																																
宇部 4	B		○	○																																
宇部 5	B		○	○																																
宇部 6	B	○	○																																	
宇部 7	B			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
宇部 8	B			○																																
宇部 9	B			○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																	
宇部 10	B			○																																
宇部 11	B							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
宇部 12	B								○																											
宇部 13	C																														●	●	●	●	●	●
"	B									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
"	B 2														○	○	○	○																		

団名	隊	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54		
字部 13	S														◎◎																			
字部 14	C																										●	●	●	●	●	●		
"	C 2																													●				
"	B											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
字部 15	C																			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
"	B															○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
"	S																			◎◎														
"	R																								●									
字部 16	C																														●	●		
"	B																														○	○	○	
小野田 1	C																														●	●	●	●
"	B	○	○	○																											○	○	○	○
"	B 2																														○	○	○	○
"	S																															○		
小野田 2	B	○																																
小野田 3	B	○	○	○																														
小野田 4	B	○	○																															
小野田 5	B		○	○				○	○	○																								
小野田 6	B		○	○																														
小野田 7	B									○																								
山陽 1	C																																	
"	B																																	
"	S																																	
山陽陽 2	C																																	
厚狹 1	B	○	○	○																														
厚狹 2	B	○																																
厚狹 3	B		○																															
第 5 地区																																		
下関 1	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
下関 2	B																																	
下関 3	B	○																																
下関 4	B	○																																
下関 5	B		○																															
下関 6	C																																	
"	C 2																																	
"	B		○																															
下関 7	C																																	

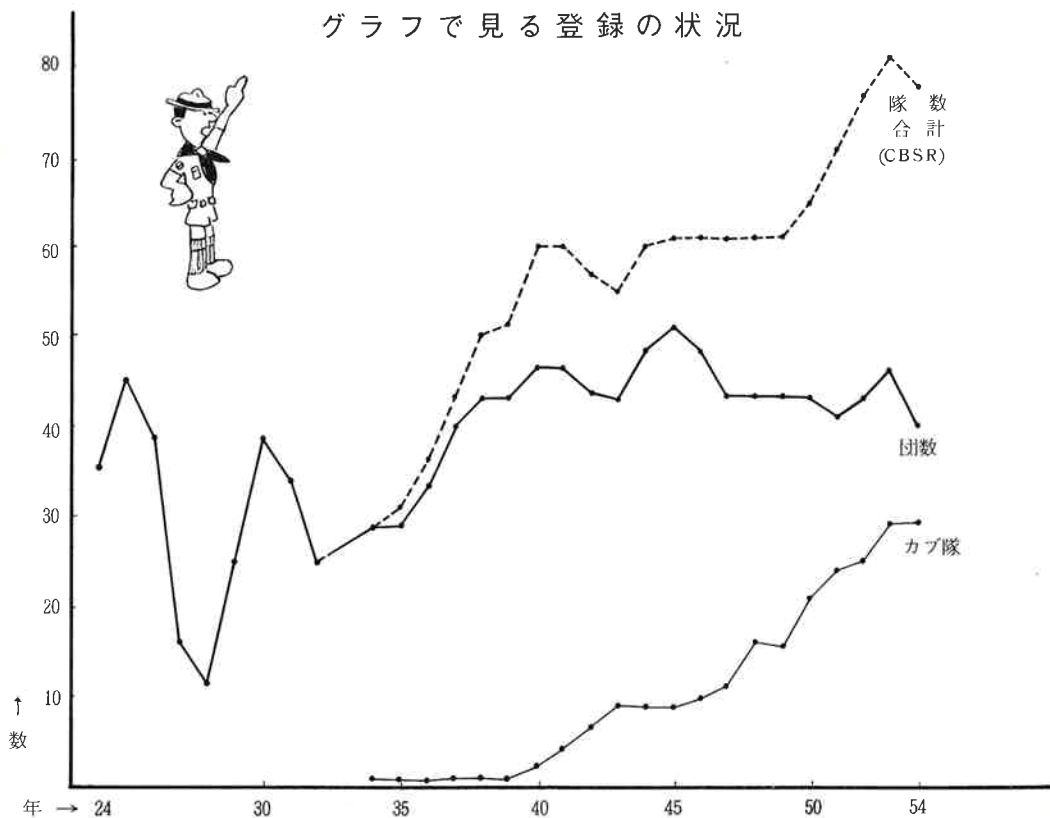
団名	隊	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54																				
下関 7	B																								○	○	○	○	○	○	○	○																				
下関 8	B	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○																											
下関 9	B																							○																												
下関 10	B		○																					○	○	○																										
下関 11	C																															●	●																			
"	B		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																			
下関 12	B	○													○	○	○	○	○	○																																
下関 13	C																						●	●	●	●	●	●																								
"	B																					○	○	○	○	○	○																									
"	S																							◎																												
下関 14	B																											○	○	○																						
下関 15	B																												○	○	○																					
豊浦 1	B	○				○	○	○	○	○	○			○		○	○	○														○																				
豊浦 3	B	○																																																		
豊浦 4	B					○																																														
豊北 1	B													○	○	○	○	○	○																																	
"	S																															◎	◎																			
第 6 地区																																																				
美祢 1	C																						●	●	●	●	●	●																								
	B	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																			
	B 2																						○	○	○																											
	B 3																						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																			
美祢 2	B												○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																				
美祢 3	B																					○	○	○	○																											
長門 1	B	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																			
長門 2	B														○	○	○	○																																		
萩 1	B							○																																												
萩 2	B							○	○	○	○			○	○																																					
萩 3	B							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																			
"	S													◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎																				
萩 4	B							○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																			
萩 5	C																								●	●	●	●	●	●	●	●	●																			
"	B							○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																			
萩 6	C																																●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
"	B																								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
"	S																																											◎	◎	◎	◎					
萩 7	C																																													●	●	●	●	●	●	●



団名	隊	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	
萩	7 B																									○	○	○	○	○	○		
秋芳	1 B													○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
三隅	1 B																							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
須佐	1 B													○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
大津	1 B	○																															
大津	2 B	○	○																														
大津	3 B	○																															
阿武	1 B	○	○	○																													
合計	団数	35	45	39	16	12	25	28	34	25	27	28	31	33	40	43	43	47	47	44	43	48	51	48	43	43	43	41	43	47	40		
	カブ												1	1	1	1	1	1	2	4	4	9	9	9	10	11	17	16	21	24	25	29	29
	ボーイ	35	45	39	16	12	25	28	34	25	27	28	29	34	40	47	48	53	51	50	43	48	50	48	42	42	43	42	43	47	46	42	
	シニア													1	1	2	2	3	5	5	3	3	3	2	3	2	2	2	3	5	5	6	6
	ローバー																							1									
	合計	35	45	39	16	12	25	28	34	25	27	29	31	36	43	50	52	60	60	57	55	60	61	61	55	61	61	65	72	77	81	78	

注 ●カブ隊 ○ボーイ隊 ◎シニア隊 ●ローバー隊 (54年は8月31日現在)

グラフで見る登録の状況



(54. 8. 31現在)

# 表 彰 に 輝 く 方 々

---

## 日本連盟よりの受彰者

---

### た か 章

小沢太郎 (昭35) 田中龍夫 (昭37) 橋本正之 (昭40) 中丸岩吉 (昭41)  
河野章二 (昭41) 小島孝悫 (昭45) 末山正顕 (昭46) 太田耕作 (昭48)  
永松省治 (昭49) 岡寺正夫 (昭50) 亀山俊雄 (昭53) 大久保英夫 (昭54)

### は と 章

田村 保 (昭31) 河野章二 (昭32) 中丸岩吉 (昭32)

### かつこう章

宮本正次 (昭35) 永松省治 (昭35) 藤本菊二 (昭37) 太田耕作 (昭37)  
小島孝悫 (昭38) 横山貞次 (昭39) 五島光蔵 (昭40) 末山正顕 (昭41)  
岡寺正夫 (昭41) 田中為一 (昭41) 桑原法道 (昭42) 亀山俊雄 (昭43)  
古田 弘 (昭43) 永久鉄哉 (昭45) 河野一雄 (昭46) 大久保英夫 (昭46)  
武内正一 (昭46) 長富春一 (昭46) 石津勝治 (昭46) 滝原常雄 (昭48)  
山根 勝 (昭48) 森重利雄 (昭50) 原川 康 (昭50) 故桜井 孝 (昭50)  
引頭義男 (昭51) 三坂玉良 (昭53) 上野泰義 (昭54)

### 公共奉仕章

岡迫孝雄 (昭37)

### 人命救助綬

田布施第1団シニア班 (昭44) 田布施第1団ボーイ隊 (昭50)  
山口第2団ボーイ隊 (昭46)

---

## 山口県連盟よりの受彰者

---

### 県連有功章

中丸岩吉 河野章二 森口泰助 藤井英夫 (以上35年) 桑原法道 中板孝祐 細田久雄  
岡寺正夫 亀山俊雄 岡迫孝雄 (以上36年) 小島孝悫 古田 弘 河田 新 大久保英夫  
五島光蔵 阿山勇祐 末山正顕 山本春江 (以上37年) 太田耕作 横山貞次 辻 博顕  
永松省治 (以上38年) 隅田悟郎 増永繁男 (以上39年) 永久鉄哉 石津勝治 長富春一  
河野一雄 安東一光 (以上41年) 村木清治 武内正一 山根 勝 滝原常雄 (以上43年)  
森重利雄 ( 44年) 原川 康 松田一郎 (以上45年) 熊野 一 満長明德 引頭義男  
(以上46年) 桜井 孝 宮本雅通 三坂玉良 (以上47年) 西林直輝 ( 48年) 山田康人  
松浦静信 得平卓彦 (以上50年) 上野泰義 村上智真 三宅和夫 佐内昭雄 (以上51年)  
玉野二三雄 岸村正昭 福原道俊 安田秋夫 小林信子 津村和彦 後藤泰昭 故藤井英夫  
(以上53年) 伊藤 光 上田敬正 新庄菊子 児玉 洋 山田義昭 岡本恵達 井上文雄  
吉武勇司 下川昭治 (以上54年)

### 県連感謝状

- 昭和38年 山口ロータリー山口ライオンズ 山口青年会議所 中村政一 安部義正 沖中優  
昭和39年 長門ロータリー 柳井ライオンズ 宮崎 潔 板村 豊 吉津友治 世良憲治  
徳永勝亮 作間正朝 桜井武治 木村亀治郎 山根 勝  
昭和40年 木下俊夫 森口泰助 黒田実雄 防府ライオンズ 三浦孝一  
昭和41年 県経営者協会 藤本菊二 田布施町長 秋芳町長 田中孝一 防府ロータリー  
下関ライオンズ 森重利雄 大草安一 齊藤秀千代 村木清治  
昭和42年 牛尾美鶴 大西賢一良 木落 満 佐伯正道 滝原常雄 堀 新吾 松原秀雄  
防府連合婦人会  
昭和43年 岩国桜ライオンズ 岩国ロータリー 岩国工業クラブ 岩国ライオンズ 岩国錦ラ  
イオンズ 山田康人 坪井清治 末永好勝 宮本雅通 原田重雄 久和勘治郎  
防府中央ライオンズ 鉢嶺守恒 山田義昭 岡野正人 宇部ロータリー  
宇部西ロータリー 山根信太郎 萩ロータリー  
昭和44年 大筋重助 西村正人 高木友三  
昭和45年 柳井ライオンズ 柳井ロータリー 柳井青年会議所 玖珂町長 玖珂町教育長  
藤中 照 吉村光政 土肥 孝  
昭和46年 萩ライオンズ 小田政満  
昭和47年 西河哲夫 上林正章 八百屋常三郎 岩政齊 藤井和枝 田宮鳳 中村太郎  
永富正志 長門ライオンズ 徳山ライオンズ 鹿野ライオンズ 青木順一  
昭和48年 徳山東ライオンズ 井関澄雄 藤本秀雄 岩崎 孝 津森耕敏 東 一雄  
下関西ライオンズ 大谷 卓  
昭和49年 光永源植 山陽町埴生地区社福協 山陽ライオンズ 下関北ライオンズ  
井川克己 安田秋夫 大賀久隆 岩本正臣 松野利久 山本武司  
昭和50年 菊本直次郎 新造節三 和田芳男 代山漁網 松本良雄 仁田産業 永富正志  
昭和52年 青木英一 岡村芳雄 岩崎友治 玉野二三雄 白本博彬  
昭和53年 吉武邦敏 亀山剛雄 井川克己 林 孝介 是松茂樹 下関ライオンズ  
下関西 下関北 下関長府 下関小月 下関響灘各ライオンズ  
昭和54年 野原清司 藤津春久 西村一夫 井納 清 中丸岩吉 河野計雄  
7 N J 各地区派遣隊長 9 名

### 県連感謝章

- 昭和53年 隅田悟郎 末山正顕 滝原常雄 田中宏二 益田宗親  
昭和54年 田中洋輔 菊元直次郎 井関澄雄 末広精志 山田政俊 中村政一 永富正志  
岡寺正夫

隊褒彰綬、特別年功章、県褒状、県善行、県特別感謝状は省略させていただきます。

ボーイスカウト山口県連盟  
結成式

昭和23年9月11日  
山口市 白石小学校講堂

GHQ 青少年部長  
タイパー氏の講演➡



第1回 山口県大会  
(県連創立記念野営大会)

昭和23年9月10日  
山口経専グラウンド

◀大営火にて夜話のタイパー氏

第3回 山口県大会 (下関市野球場)

昭和26年  
8月28日～29日

開会式  
隊旗先頭に➡

国旗掲揚  
↓



荒廃した下関市内をパレードするスカウト達



昭和29年7月30～8月1日

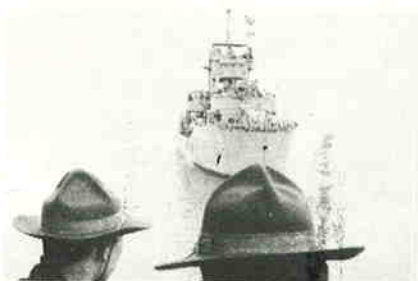
徳山市毛利公園



黒神徳山市長のあいさつをうけるスカウト達



国旗を先頭に市中パレード



◀海上自衛艦で  
徳山湾を一周  
体験航海

第5回 山口県大会

ボーイスカウト・ガールスカウト  
山口県合同野営大会

ボーイ・ガール

合同野営大会



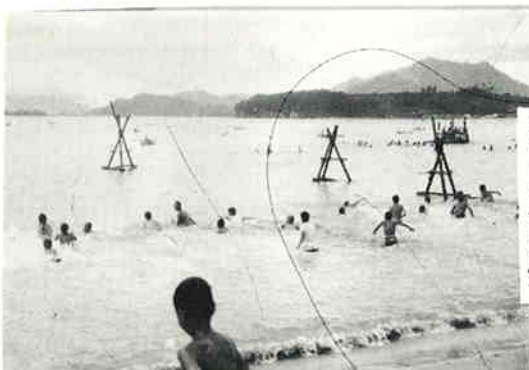
主催 山口県教育委員会  
萩市教育委員会  
ボーイスカウト山口県連盟  
ガールスカウトリネアクラブ

萩市指月公園

昭33年8月2～4日



物故者慰霊祭



結索訓練



第6回 山口県大会 (国体奉仕研修大会)

昭38年8月 防府市航空自衛隊



市中パレード



ゲーム大会

少年幹部研修大会(第7回県大会)

昭和42年8月10～13日



宇部市青年の家  
ときわ湖畔



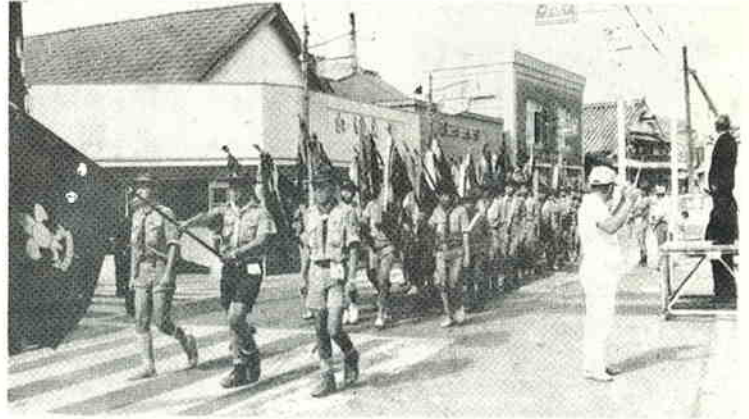
# ボーイスカウト

山口県連盟創立20周年記念野営大会

昭和44年8月2～5日 萩市野営場



主催  
山口県教育委員会 山口県 玖珂町  
玖珂町教育委員会 NKK KRY  
ボーイスカウト山口県連盟



玖珂町をパレードの参加スカウト

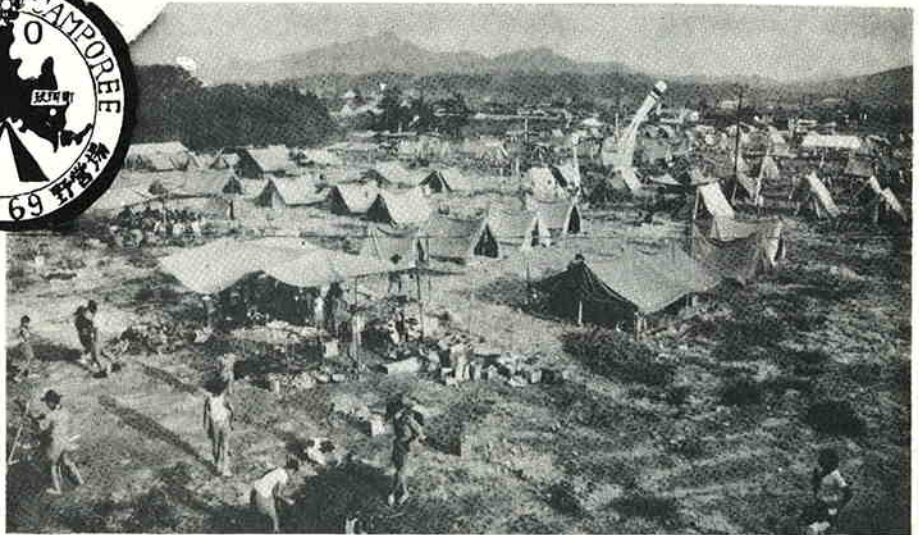


第8回  
山口県大会

県連創立  
20周年記念

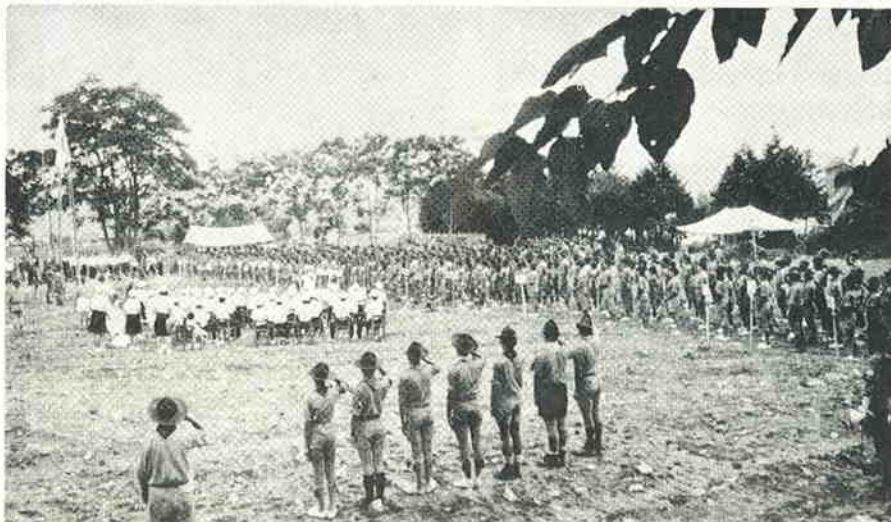
昭和44年8月2～5日

玖珂町



▲野営場全景

▼開会式・国旗掲揚





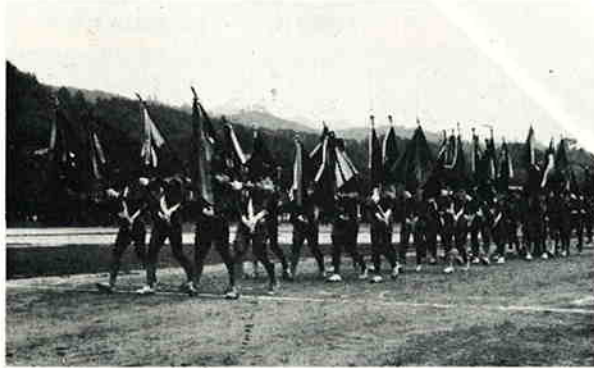
第10回 山口県大会

昭51年8月6～9日

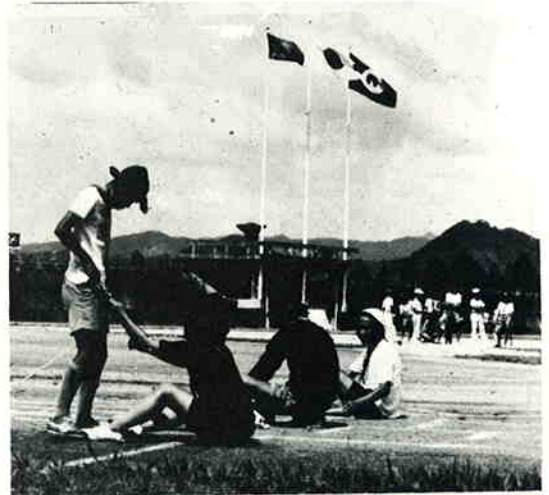
山口市吉敷木崎  
(県陸上競技場ウラ)



▲大会場にひらめく  
国旗、県旗、大会旗  
そして百万一心の旗



◀ 開会式  
隊旗入場



▲ゲーム大会 ロープチャレンジ



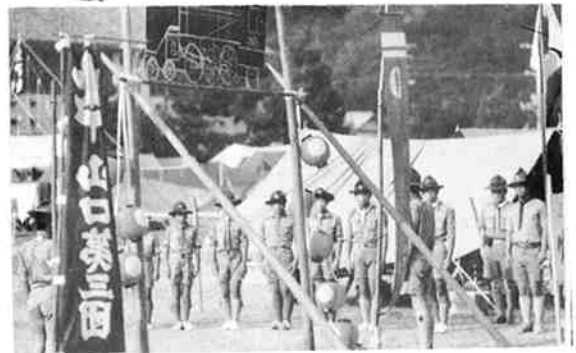
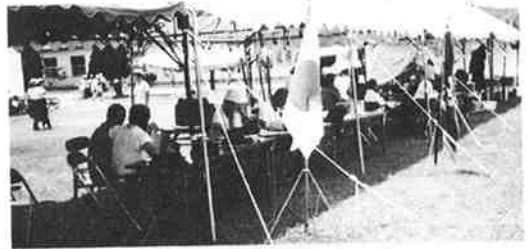
◀ 需品売店

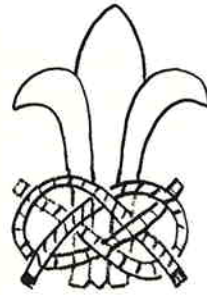
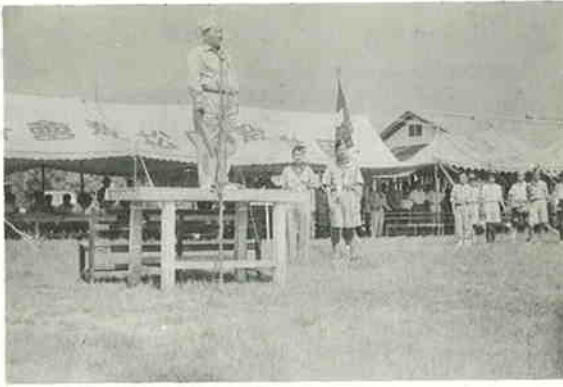






県連創立30周年記念  
 第11回山口県大会  
 昭和54年8月3日～6日  
 防府市航空自衛隊南基地





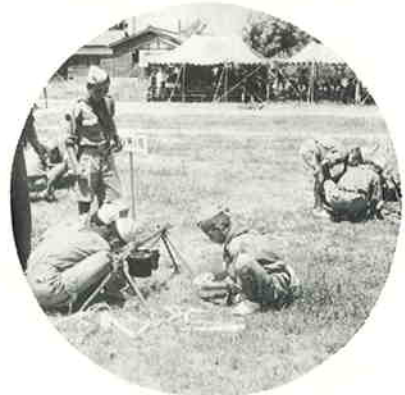
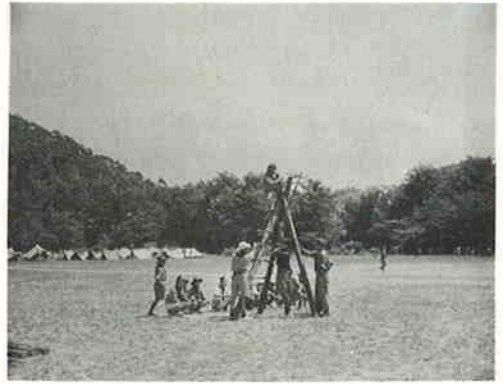
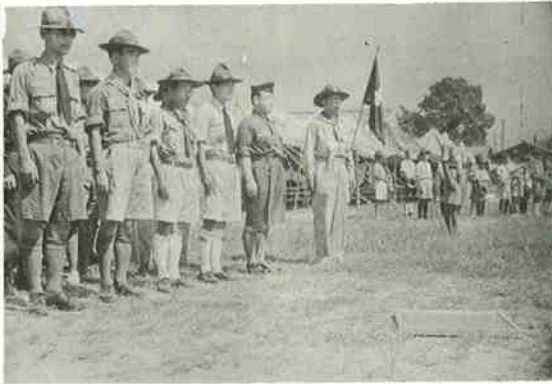
第1回  
中国ブロック大会

岡山市朝日高校  
昭26年8月

◀開会式

三木知事あいさつ

▼ゲーム大会



第2回  
ブロック大会

広島市総合  
グラウンド  
昭和28年8月  
平和公園に集結  
の参加スカウト▶



戦後のキス跡も  
生々しい八丁堀  
福屋百貨店前を  
パレード▼

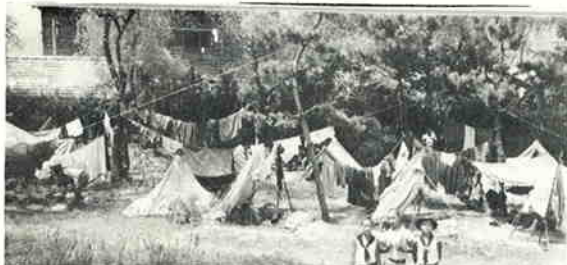


▲市中パレードの参加スカウト



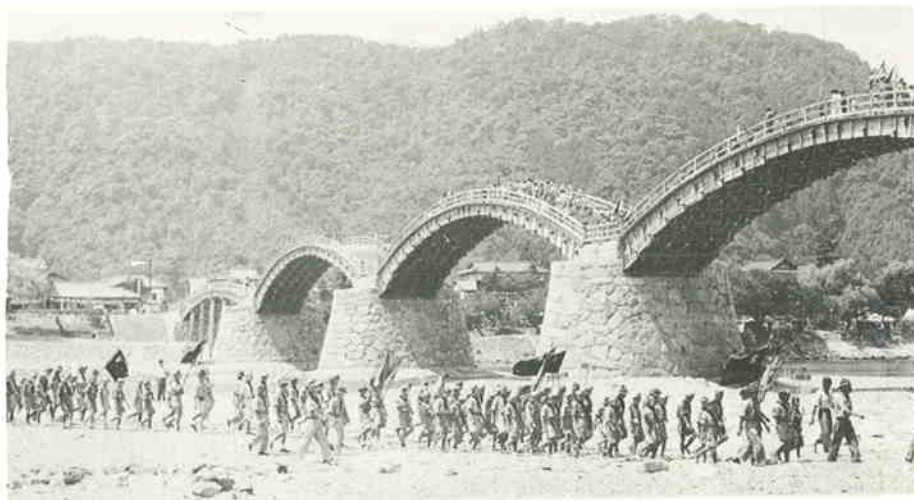
◀開会式  
総合グラウンド

▼ゲーム大会 火起しゲーム



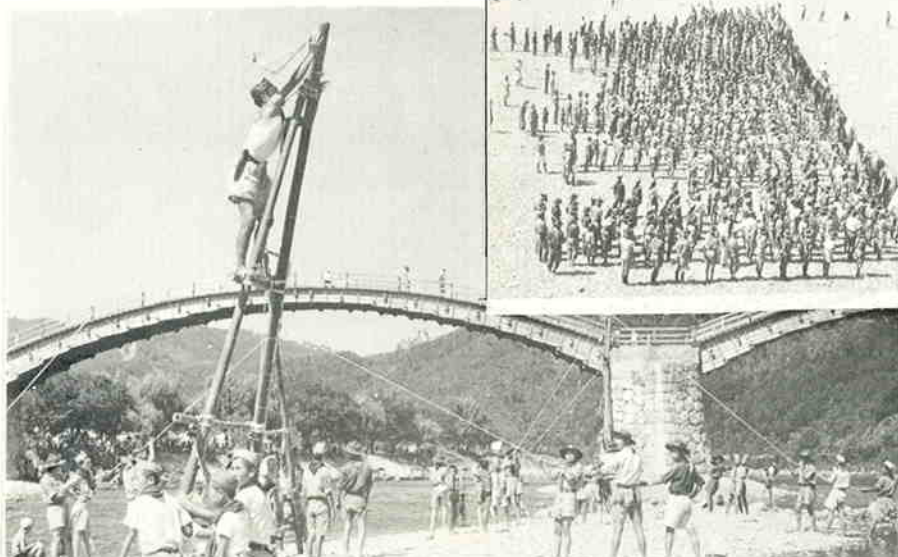
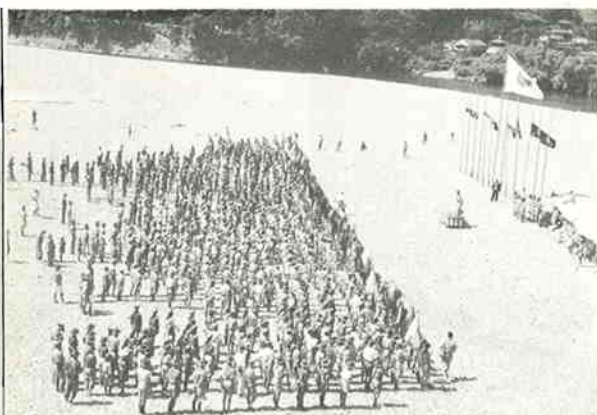
キャンプサイト





第3回 ブロック大会  
 昭30年 8月13～15日 錦帯橋畔

川原の開会式▶



◀技能大会

錦川畔の  
 キャンプサイト ▶



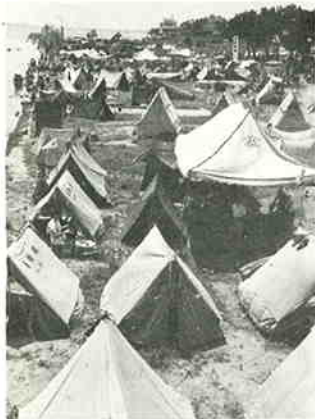
西日本大会  
第一回

水郷松江

昭32年8月25、4日



松江大橋を連盟旗を先頭に市中パレードの山口県連盟!



宍道湖畔のテント村

山口県連の朝礼



第2回西日本大会

昭和36年 8月  
7～10日  
岡山県真庭郡  
ひる山高原  
403名参加



◀ 広大な中国山地を山々をのぞんで



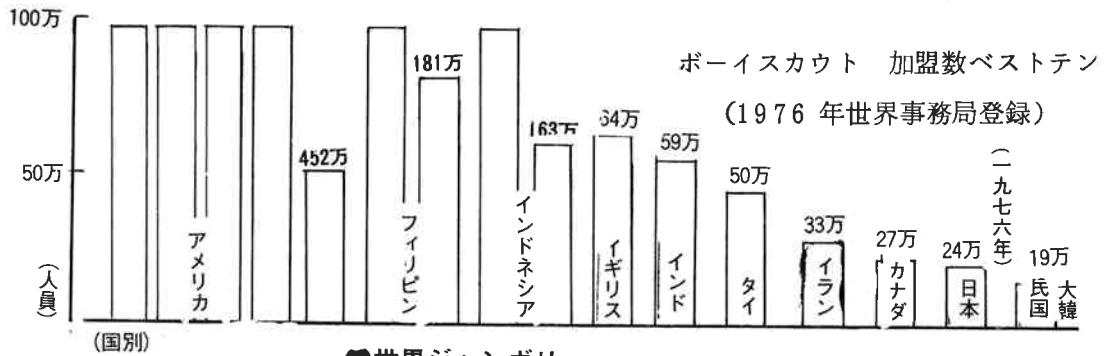
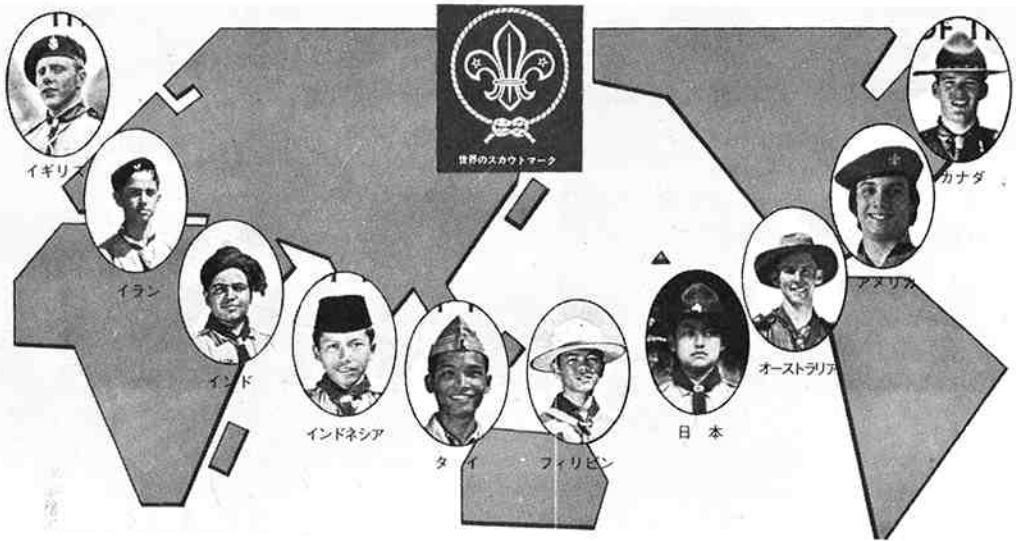
▲ 中国勝山駅到着ーバスにて野営場へ



▲ キャンファイヤー



山口県連参加者大集合



●世界ジャンボリー

ジャンボリーはボーイスカウトの楽しいキャンプ大会です。国内や国際的な野営大会のことをジャンボリーと呼んでいる。

回数	開催年月	開催場所	参加人員	参加国数	日本からの参加数
第1回	1920・8	イギリス〈オリンピア〉	6,000	34	3
第2回	1924・8	デンマーク〈エルメルンデン〉	5,000	32	32
第3回	1929・8	イギリス〈アローパーク〉	50,000	69	28
第4回	1933・8	ハンガリー〈ゲテロ〉	25,792	33	10
第5回	1937・8	オランダ〈フォーゲレンザンク〉	27,000	54	11
第6回	1947・8	フランス〈モアソン〉	24,152	71	0
第7回	1951・8	オーストラリア〈バド・イスル〉	12,884	61	2
第8回	1955・8	カナダ〈ナイアガラ・オン・ザ・レイク〉	11,139	71	14
第9回	1957・8	イギリス〈サトン・パーク〉	31,426	82	22
第10回	1959・8	フィリピン〈マッキンリンパーク〉	13,000	45	520
第11回	1963・8	ギリシア〈マラソン〉	11,398	89	138
第12回	1967・8	アメリカ〈ファラガット・ステートパーク〉	12,011	105	320
第13回	1971・8	日本〈アサギリコウゲン〉	23,758	87	7,783
第14回	1975・8	ノルウェー〈リリハマー〉	15,292	94	141
第15回	1979・7	イラン〈ネシャプル〉			

●日本ジャンボリー

回数	開催年月	開催場所	参加人員	参加国数
第1回	昭和31.8.2~6	長野県・軽井沢	13,000	12
第2回	昭和34.8.2~10	滋賀県・あいば野	17,000	16
第3回	昭和37.8.2~8	静岡県・御殿場 (アジアジャンボリー)	26,000	16
第4回	昭和41.8.5~9	岡山県・日本原	30,000	12
第5回	昭和45.8.6~10	静岡県・朝霧高原	32,653	13
第6回	昭和49.8.1~6	北海道・千歳原	27,000	12
第7回	昭和53.8.4~8	静岡県・御殿場	25,000	





第1回全国大会で  
初めて発行された  
スカウト切手



▲ 第1回全国大会  
大会入口のゲート  
昭和24年9月皇居前



◀ 第1回大会の  
技能会においてになった  
天皇ご一家  
(日比谷公園にて)

第2回全国大会  
昭和25年 新宿御苑  
初めて出来た日連旗▶





第1回日本ジャンボリー  
昭和31年8月2日～6日



長野県 軽井沢

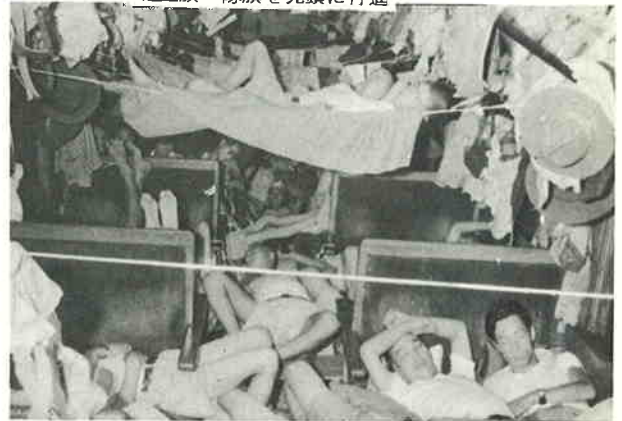
12ヶ団 13,000人参加



大会広場の国旗と外国旗



連盟旗・隊旗を先頭に行進



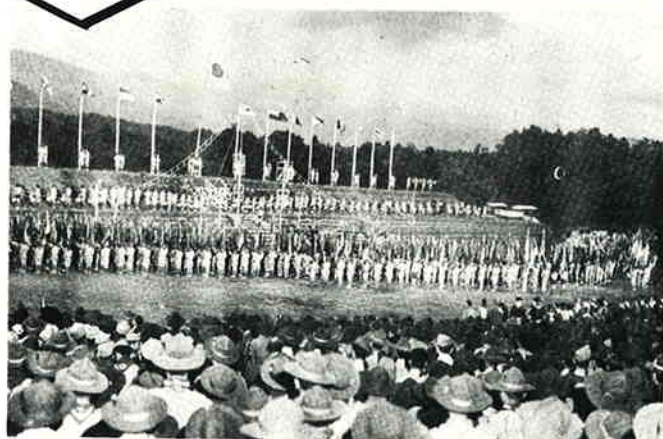
思い出の寝台(?)臨時列車▶



一浅間山をはるかに一 記念さつえいの参加スカウト

第2回日本ジャンボリー

びわこ湖畔あいば野に集う総勢2万人のスカウト



開会式・国旗掲揚

県連キャンプサイト





第3回日本ジャンボリー  
(第1回アジアジャンボリー)

霊峰富士の裾野 16ヶ国 26,166名  
が参加、心と心の暖かいふれ合  
いと楽しいプログラムに  
意義ある日々を送った。



皇太子・同妃殿下をお迎えして開会式

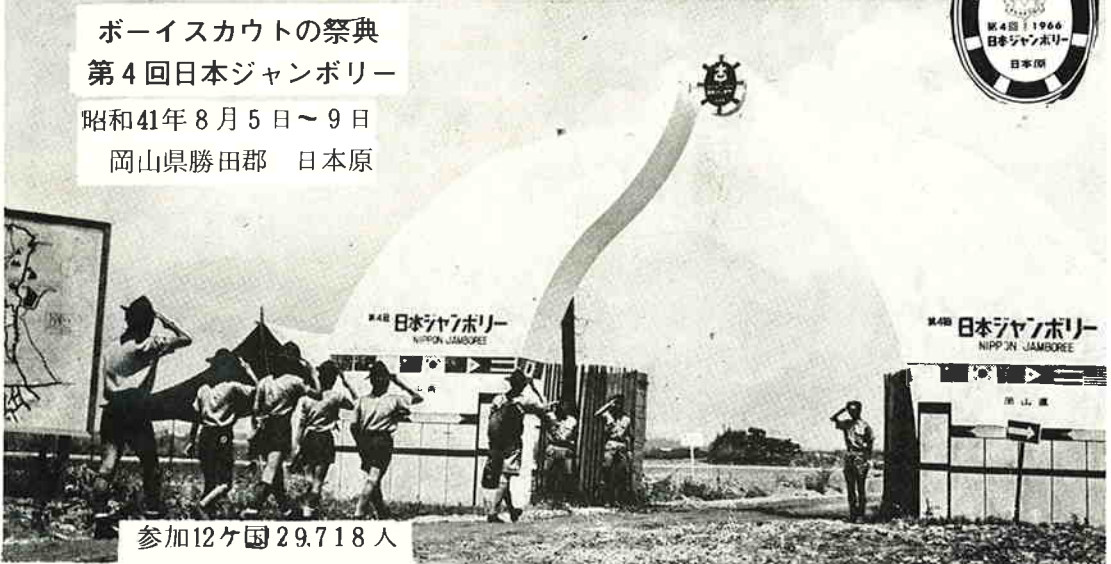
国旗掲揚



富士をのぞんだ中国ブロック野営場

ボーイスカウトの祭典  
第4回日本ジャンボリー

昭和41年8月5日～9日  
岡山県勝田郡 日本原



参加12ヶ国 29,718人



▲開会式・隊旗  
集団の入場



大パレード  
百万一心旗をなびかせ  
防長健児の意気高し





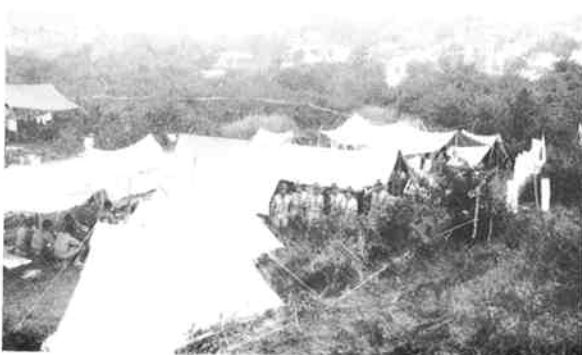
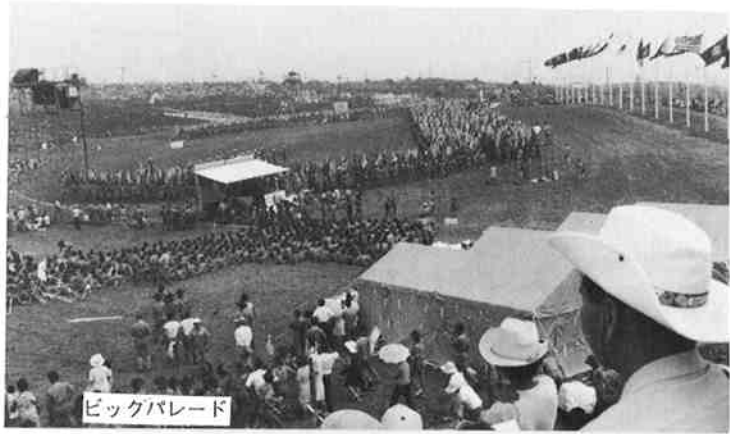
朝霧につどう若人3万  
第5回日本ジャンボリー  
昭45年8月6日～10日

8月6日午後7時開会  
折悪しく霧に包まれ音  
楽と音声のみの“霧の  
開会式”となり深く印  
象づけられた。



▼テント村

▶大集会見学の県連スカウト



▲各教宗派に分かれて日曜礼拝

◀ジャンボリーにつきものの臨時列車  
参加382名



“大自然と友情と”  
第6回日本ジャンボリー

北海道 千歳原  
昭49年8月  
参加 27,000人



▲ジャンボリー名物  
友情ゲーム  
クラーク博士の金言を  
8文字で表わす8人の  
スカウト仲間を探す大  
野外ゲーム



◀朝礼の県連スカウト  
参加174名



◀大集会に入場の県連旗  
と百万一心旗群





# 第7回日本ジャンボリー

昭和53年 8月4～8日

静岡県 御殿場市



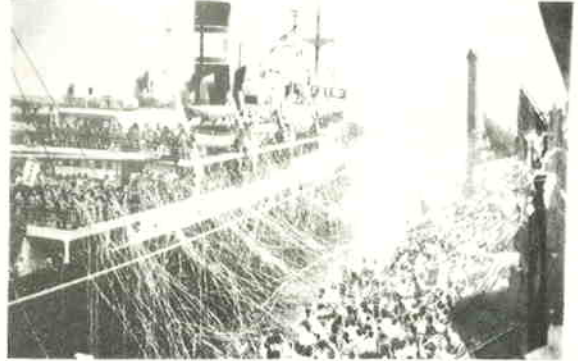
サブキャンプ方式によるジャンボリーが行われ  
15ヶ国 2万6千余のスカウトが参加、山口県260名参加



第10回世界ジャンボリー

1959年フィリピン  
マッキリンパークにて45ヶ国1  
万3千人が集い  
アジアで最初の  
ジャンボリー  
が行われた。

日本派遣団520名  
白山丸にて神戸出港



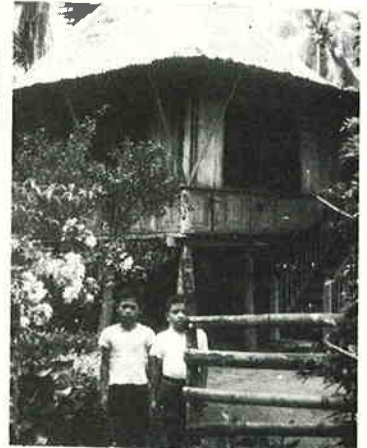
▲日連旗を先頭に開会式場へ

平和の大使館団として日比親善に  
大きな役割をはたした。

▼ 山口県代表(指導者4名スカウト6名)



▲野営場内は見学者でいつもいっぱい



▲フィリピン特有の床高の家





スカウトつどう  
マラソン  
第11回  
世界ジャンボリー  
89ヶ国 11,398人  
(日本 138名)

8月1日、ギリシャに到着して23日目、このマラソンのキャンプサイは毎日30度を越える日本内地にも劣らぬ暑さ、海からの風が大変強く10m位の風が休みなく吹いているし、空気は乾燥しているためすぐに蒸発してしまっ暑さをさほど感じなかった。しかし口びるがすぐにカサカサになるのにはいささか困った……夕刻7時より開会式が始った……今までの世界大会開催国の紹介があったが、第10回開催のフィリッピンが紹介され、飛行機事故で同志を亡くした代表スカウトがただ1人参加していたことがこのマラソンのアリーナに集った人々の耳に伝えられた時、全スカウトの心がフィリピンのスカウトに送った友情の拍手が鳴り止む時を知らぬように続いた……異国の空の下で文化発祥の地ギリシャにおいての開会式は私の胸中生涯の感激として残ることでしょう。



第12回ジャンボリー 1967年 105ヶ国 12,011名 日本参加 320名

8月11日 夕食7時より開会式  
日本隊の花火の打上げを最後に  
11日間のジャンボリーも終幕を  
告げ、別れの歌の斉唱の内にそ  
の大会への回顧が交々迫って目  
頭が熱くなるのを覚えた……

岩国1団SS隊  
吉岡春紀君の旅行記より



“アメリカに行って” 僕がアメリカ派遣団員となった日から考えたことは第1にアメリカの風俗、人格何でも欠点を見てこようという事でした。

私達は一応お客となるのですから良い点ならいろいろと目につくでしょう。しかしもう一歩すすんで欠点まで見る必要があると思ったからです。……略

これらは抽象的な考えではありましたが17才になったばかりの僕には、何でもかんでも体でぶつつかって見たいという気持でいっぱいだったからです…略… 実際に行ってみて、予想とおりの良い点ばかりで欠点など見ようにも見えませんでした。しいていえば、個人主義の徹底から出る一部の点、また人種問題、その他ほんのわずかだけでした。

団体だったので行動が消極的だった。自分をかばいすぎて外国人の中へ1人で飛びこみ……僕はもっと自分自身を試してみる必要があったと考えさせられました。

岩国1団山本茂信君の  
米国旅行記より  
岩国2団 松塚展門  
山口2団 原田 寛  
山口県連盟派遣スカウト3名



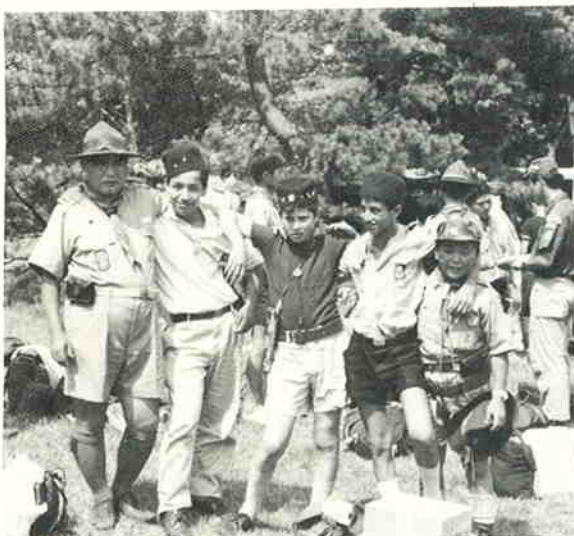


1971.8.2~10  
 静岡県  
 朝霧高原  
 87ヶ国 23,758  
 日本参加 7,783  
 山口県 148名



ジャンボリー切手

朝霧高原は2万3千余人の少年の町となる



▲すぐ音楽がとびだすアルジェリアのスカウトと



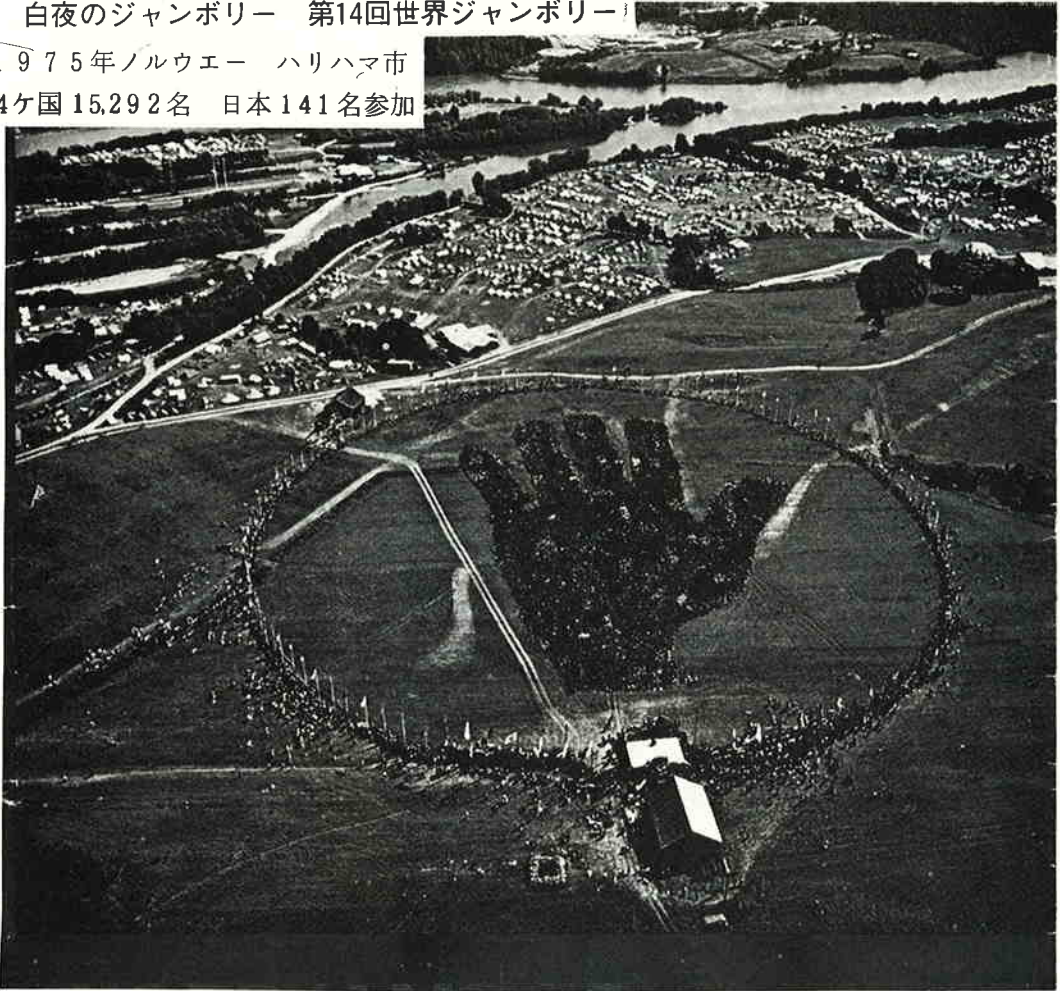
▲マレーシアのキャンプサイト訪問



7万人を収容する大アリーナを埋めた世界のスカウト

白夜のジャンボリー 第14回世界ジャンボリー

1975年ノルウェー ハリハマ市  
94ヶ国 15,292名 日本141名参加



モットー「5本の指 一つの手」北欧5ヶ国の密接な協力と世界5大陸の協力を示す

7月28日(日)晴 到着と同時に設営を開始する。太陽が体にまともに照るので暑い暑い、しかし汗が出ない、でも作業のピッチは全く上らずじまい、午後には水浴に行くし、水がたいへん冷い、秋の水みたいであった。作業能率が上がらないので夕食が終了するのは20時過ぎになった。しかし太陽さんは輝いている。22時近くになつて夕焼け。昼の暑さに比べ夜は寒い寒いセーターを着なければならなかった。

7月30日(火)晴 朝7時30分にお日様の熱で目をさます。テントの中は蒸し風呂……………  
山口県連盟派遣団員 柳井1団 村上智真 岩国1団 神尾紀一郎・新庄浄之

- ★第4回オーストラリアシニアスカウト大会 1975.12.19.~1.9 宇部13団SS 松岡信也
- ★バクテイル招待計画(アメリカ) 1976.7.21.~8.24 山口3 松永茂樹
- ★アメリカ建団200年記念日米スカウト交歓 1976.7.21.~24 山口3 坂本 宏

<h1>祝</h1>			
	<h1>30</h1>		
		<h1>周</h1>	
			<h1>年</h1>

# ボーイスカウト岩国第1団 カブ隊・ボーイ隊・シニア隊・ローバー隊

●団本部 岩国市岩国1-13-12小島方



菊元育成会長

岩国暁団育成会 昭和52年度団増大し、分封することになり、第4団、第5団の3つになりました。育成会は3団統一して暁団育成会として発足、会長に菊元直次郎氏を、副会長に1団岩崎友治氏 4団に白木芬氏 5団に長井武氏を推して会の融和をなかることとしています。

初期登録	カブ	33.41
	ボーイ	24.527
	シニア	38.41
	ローバ	54.8



小島団委員長



岩国1団カブ隊は、団創立10年後の昭和32年、小島団委員長を隊長として錦帯橋畔に産声をあげ以来 濁流渦巻く時も渇水の時も常に絶えることない錦川の如く流れ続けて今日に至っている。52



新庄カブ隊長

岩国カブ隊の歌  
1.城山の森を訪ねたら  
そこにぼくらのデンがある  
りすやうさぎしかにくま  
ぼくらは黄のネッカチーフ  
みんなよい子にならうよ  
ぼくらは岩国年少隊

年団分封にもなって4.5団カブ隊分身が生れるなど幾多の出来事があった。



藤村カブ副長

以下略  
昭42年 作詞 古巢の会



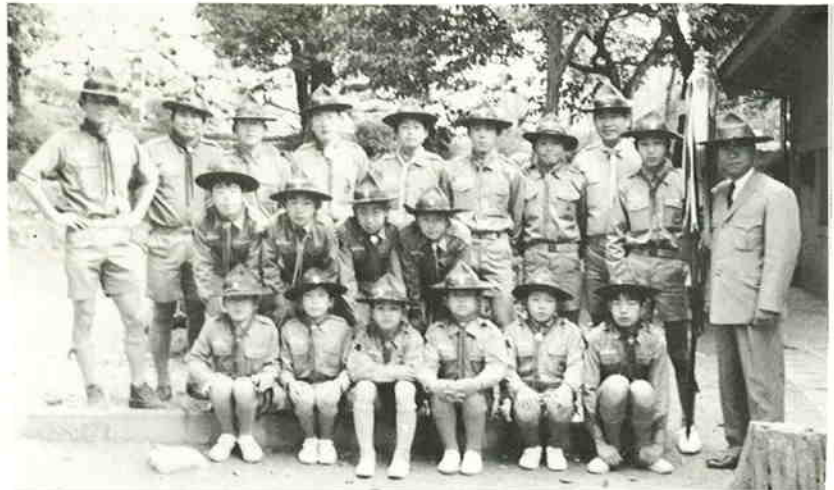
川戸カブ副長



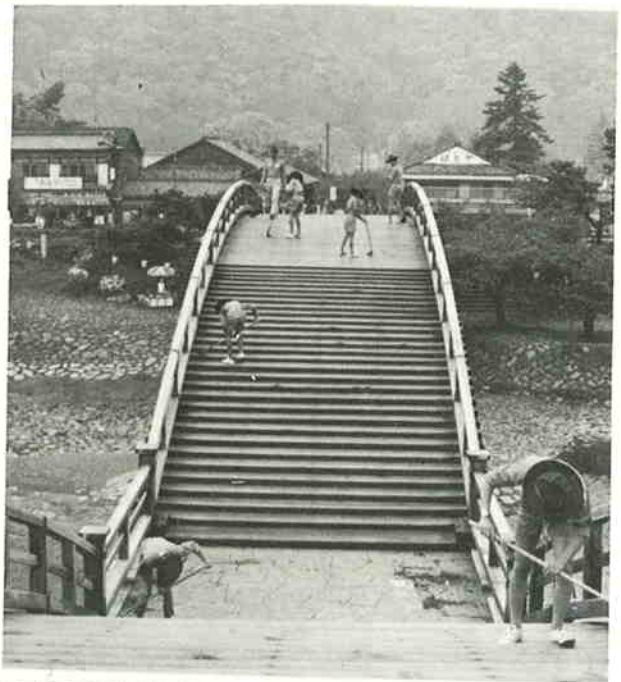
塚田カブ副長



高山ボーイ隊長



岩国1団ボーイ隊は昭和22年に発足、1昨年30周年を迎えた伝統ある団です。現在スカウトは27名ですが、30年を機会に分封した4団、5団の兄弟スカウト達と活動をともにしています。日本三奇橋の一つである錦帯橋の直下流約200mのところ団本部を置き、私達の生みの親である小島先生のもとで日夜スカウテングに励んでいます。



写真説明

- ① 新年国旗掲揚式を終えて
- ② 錦帯橋清掃奉仕
- ③ 日曜礼拝



スカウテングの内容は、毎月最低2回の隊集会と奉仕活動、毎日曜日の日曜礼拝を基本に組みたてています。

古い団ですので野営道具は使えそうもないものまで倉庫に眠っていますが、いざ捨てるとなると、色々な思い出を捨て去るようではなかなか決心が付きません。

# ボーイスカウト岩国第1団

★岩国1団シニア隊は昭和38年3月発足  
17年間活動をつづけています。活動  
の中で一番のハイライトは、年長特別富士  
野営大会ではないでしょうか、日本一の  
富士山山麓、山中湖一帯で行われるプロ  
グラムは開拓、イカダ作業、ナイトゲー  
ム、一泊ハイク、大営火などの数々は、  
参加スカウト1人1人の心には、いつま

でもこのキャンプが思い出になっている。

49年からシニア試行隊として活動をはじめ、暗中模索  
の中、プログラムを隊員自身で計画実行し、失敗は次のプ



★岩国第1団 ローバー隊

各地の大学にいるシニア出身隊員15名で今夏8月隊結成  
県下初のローバー隊として自覚と責任をもってスカウテン



隊長高山克海—教育目標—すばらしい日本人とならう—



ログラムの反省として成長して  
きた。現在スカウト達の手で大  
部分運営されるようになった。

◀終隊式はシニア隊のみ、カブ  
ボーイ・シニアとスカウト 活動を終えた  
隊員は祝福をうけ大学生になり立派な社会  
人として我が団を巣立ってゆく。

グにまい進  
日常は各地域において  
独自の協議会をもち、  
長期休暇で帰省の際全  
員活動を行う。活動の  
中心は青海島近海の無  
人島でベースキャンプ  
場開拓、全国的にスカ  
ウトとは何か、が問わ  
れているとき多くの人  
々によって支えられて  
いる我々であることを  
忘れずにローバリング  
を求めてゆきたい。

●団本部 岩国市南岩国 2-57-23 高田京三方

初期登録	カブ隊	5 2. 4. 1
	ボーイ隊	5 2. 4. 1



高田団委員長



新沼ボーイ隊長



中川ボーイ副長



村中ボーイ副長

歴史と伝統ある岩国第1団が大きく生長1.4.5団に分封して約2年、4団を受けもつ指導者は発足当初は不安や戸惑い心

細さがあったが、育成会、指導者研修定期合同隊集会等巾広い交流で以前にもまして密なるものがあります。計画的隊集会、進級特訓、夏季野営行事、GBP教育など合同で行い、各団の足並をそろえています。

活動のかずかず







杉山カブ隊長



坂井カブ副長



広中カブ副長



53年度カブラリー



54年5月の隊集会

資金面については1. 4. 5  
団分離時点で今  
までの育成会が  
暁育成会と新名  
称で発足団を育成され  
ている。今後の問題は  
若いリーダーの育成確  
保と、部活動との板挟  
みで苦しむ団員の活動  
をもっと良い方向に解  
決して行くことが我々  
リーダーの課題です。



54年の元旦を岩国城にて迎える

●団本部 岩国市元町4丁目5-10 沖井洋一方  
 生いたち 誕生日浅く、1人歩きの3年目  
 岩国第1団の発展的分封によって生まれた。  
 育成会は岩国暁団育成会、その翼下1.4.5団  
 と3兄弟の団です。

活動 毎月第1. 3日曜日岩国駅前の清掃  
 奉仕と月例隊集会、会場は白へび飼育場側の  
 児童公園を使う。国旗掲揚式、BP祭、上進式  
 春季ハイク、特別技能訓練、夏季キャンプ、グ  
 リーンシニア上進式、秋期ハイク、岩国祭奉仕  
 歳末助け合い募金など

世の中の変化はめまぐるしい感のある今日  
 であるが今種スカウト活動の必要な時はない  
 と認識しながら前進したいと思っている。

初期登録	カ 隊	5 2. 4. 1
	ボーイ隊	5 2. 4. 1



沖井団委員長



長井育成副会長



浅野カブ隊長



常盤カブ副長



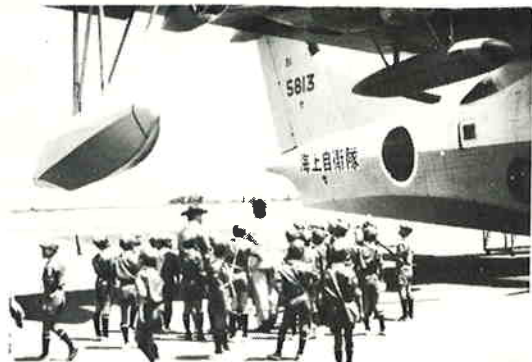
ほみこしワッショイ 日米合同



たのしい昼食 ホットドッグ



ミニミニオリマーソン





棟近ボーイ隊長



鮎川ボーイ副長



手嶋ボーイ副長

夏季キャンプ記録



型の上では岩国は3ケ団に分封しているが精神は一つをモットーにスカウティングにはげ  
んでいる。当初2ケ班であったが現在4班編成で隊型もととのって来た。

●団本部 岩国市通津 通津小学校内

初期登録	カブ隊	47. 6. 21
	ボーイ隊	40. 10. 25
	シニア隊	51. 4. 1

山口県東の玄関、錦帯橋の岩国市の南端に位置する小さな町美しい内海に沿い高照寺山を背負う典型的な小農漁地区だった。が10数年前から団地の造成、大企業の進出で人口が増加した。隊員のすべてが通津小中学校の児童生徒で構成されていたが、最近近隣の中洋小学校からの入隊があり組織拡張の期待できる。

★団の生いたち 昭和40年11月地域の深い理解と協力に支えられ、指導者4名、スカウト12名で発団続いて47年4月カブ隊を、51年4月にはシニア隊を設置、来年は発団15周年を迎えることができる。

### 団の特徴

★育成会員 スカウト運動に対するより多くの理解をうため地域の多くの方に入会し協力をお願いしている。

★団委員会 公民館運営審議会議員と父兄で構成 団委員長は発団以来一貫して通津小学校長が就任

★活動 日連教育規定に基き地域に密着特色を生かした活動を行っている。



▲通津海水浴場の清掃奉仕のカブスカウト



地区カブラリーでおみこし  
ワッショイ  
(柳井にて)

岩国3団

自慢のもの



▲野営場全景

〔問題点〕

学校、特に中学校、高校のクラブ活動との対立、全国共通の悩みとは思いますが当団は1校区小中規模校のためスカウトのほとんどが各クラブの中心構成をなしている。この調整をいかにするか、この悩みは当分続きそうだ。

昭和48年 長野地区小堂に専用野営場を開設できた。指導者の私有地にスカウトはもちろん、父兄、指導者、団役員が一体となって開設し、更にロッジを建設。休日返上で我等のキャンプサイトの建設に汗を流した。しかしこの野営場は永久

に完成しないであろう、なぜならば、それだけこの小堂野営場への夢は果しなく大きいものであるから。この野営場を県下のスカウトにも是非ご利用いただき人里離れた大自然の中でスカウト精神の原点を探っていただきたい。

スカウトロッジ建設に汗を流すスカウト・父兄▼



●団本部 柳井市尾ノ上 中央公民館内

初期登録	カブ隊	47.9.5
	ボーイ隊	24.5.26

団の沿革

昭和24年5月26日柳井中学校を本部として発足  
 昭和47年3月 本部を中央公民館へ移し内容を刷新し再発足  
 昭和47年9月 団委員長近間映良、指導者に児玉洋、村上智真、大和江智域のもとカブ隊の発足にいたる。  
 歴代公民館主事（完広正己、先田雅夫氏）職員（棟近信子、片山住代、山下サヨ氏）等の陰陽の指導支援により、また育成会の物心両面の支援により現在の団がある。再発足以来7年目、地味ながらも「真実のスカウト」の育成と本当のスカウト活動の展開のために一体となって前進を続けている。



年間プログラム

カブ隊	ボーイ隊	シニア隊
8月隊キャンプがメインプロ 岩国、岩城山、野呂山(馬)で各 2回 相の浦、萩で舎営今年 より念願であったDM・DC により組集会をもち、月例隊 集会、特別隊集会では多彩な プログラムを展開	カブ隊より上進が充分でないが、少数乍ら充実したプログラム の消化に努め、隊キャンプは黒抗、大島、岩国、野呂山、馬皿で行った	充分な活動が展開されていないが、CS・BSの兄貴分として後輩の隊付としてサブリーダーの役目を担うと共に、自らのスカウティングの実践に励んでいる



# ボーイスカウト日本連盟 結成50周年記念式典



わが団の自慢  
CS通信・BS通信

前身の中学校時代の記録が散逸して20数年の間の歩みが残されなかったのを教訓に、再発足以来通信と記録を兼ねて発刊、現在CS通信82号・BS通信59号を数えるにいたる。

★ 年間優秀スカウト表彰制度  
SS・BS共年間の活動に努力精進したスカウトに、賞状と記念スカウトトロフィーを発団以来授与している。



● 団本部 柳井市 片野 桑原法道方

初期登録	ボーイ隊	36	7.31
------	------	----	------

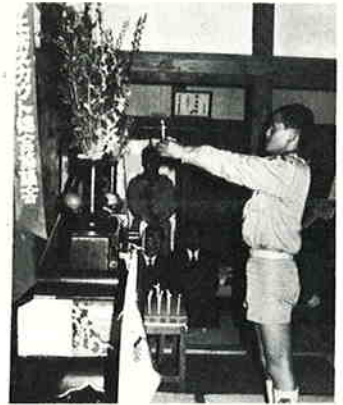
★ 昭和42年夏、浄土宗総本山知恩院の“おてつぎ子供奉仕団”に参加した20名の子供と、その両親の発案により誕生した

★ 昭和44年1月26日浄慶寺本堂にて発団式、  
“スカウトの秩序正しく堂々と  
若き人等のほこりたたえん”発団式にうたう

作 松田団委員

BP「宗教を抜きにしたスカウティングは単なる術使いにすぎない」の言葉通り、法然さんの教えに生きるスカウト活動として発団

▶ 入団式・進級式すべて  
仏前にてちかいをたてる



### 年間主要行事

- 毎月1回修養の日  
座禅、念仏会で心の勉強  
12月31日除夜の鐘、スキヤキ会后、琴石山登山
- 毎月1回奉仕の日  
天神様、稻荷山公園、柳井駅、柳井川の清掃  
年末助け合ユネスコ募金
- 史跡めぐり自転車ハイク
- スキー技能会
- 昭55年3月全国浄土宗スカウト大会、8月ハワイ交歓会参加計画



▲45年8月ハワイスカウト来日 柳井駅にて



●団本部 熊毛郡熊毛町呼坂9-3熊毛公民館内

初期登録	ボーイ隊	45.11.9
------	------	---------

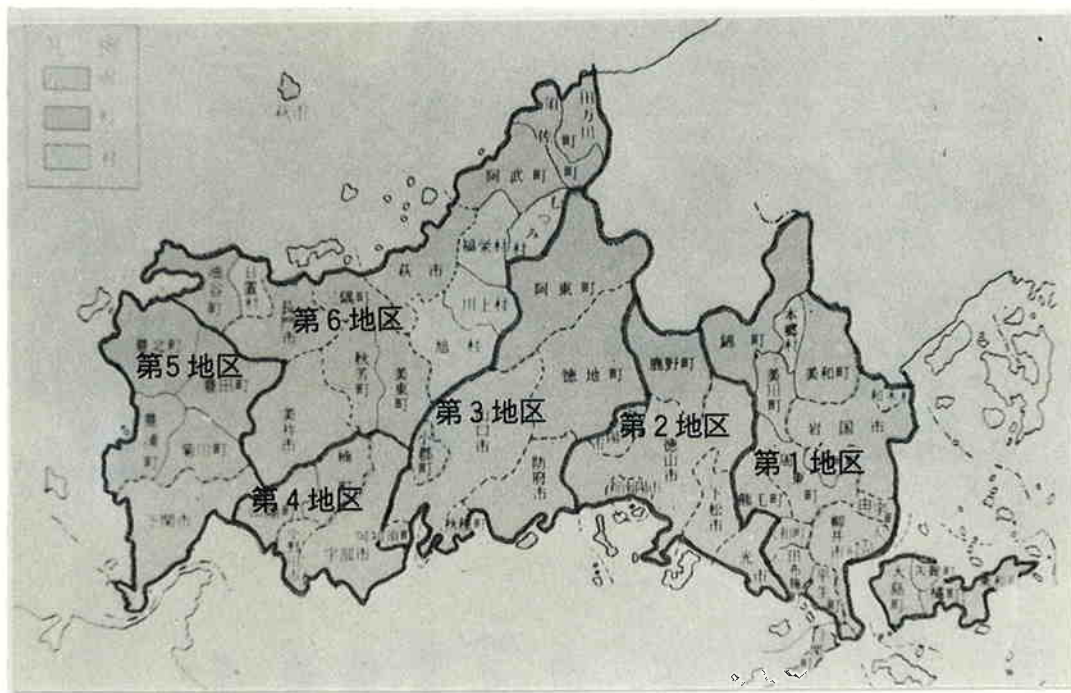
熊毛1団は発団以来10年になります。発団以前は中学校のサークルとしてヤングスカウトと称して現在の基礎になる活動をしていました。発団にあたって、リーダー他関係者一同、経験に乏しい者ばかりでしたので苦労も大なるものがありました。



★活動 月2回の隊集会、2ヶ月に1度の奉仕活動、夏のキャンプ 春のハイキングなど

★計画 カブ隊の発隊による活動の充実、リーダーと隊員一体となって充実した活動を行うべく計画中

◎県連盟地区協議会分布



- 第1地区 岩国市、柳井市、玖珂郡、熊毛郡、大島郡 (8団17隊)
- 第2地区 光市、下松市、徳山市、新南陽市、都濃郡 (5団10隊)
- 第3地区 防府市、山口市、吉敷郡、佐波郡、阿武郡阿東町 (10団19隊)
- 第4地区 宇部市、小野田市、厚狹郡 (6団13隊)
- 第5地区 下関市、豊浦郡 (5団8隊)
- 第6地区 長門市、美祢市、萩市、美祢郡、大津郡、阿武郡 (6団9隊)



ボーイスカウト田布施第1団 カブ隊・ボーイ隊

●団本部 熊毛郡田布施町長田 杉 猛方

初期登録	カブ隊	43	4	1
	ボーイ隊	38	4	1



日本ボーイスカウト田布施第1団祭団式



▲第1回訓練キャンプ



昭和43年2月  
人命救助授受彰

# ボーイスカウト田布施第1団



交通安全運動参加 ▲



▲カブスカウト夕食準備



◀カブ隊集会

●団本部 光市浅江 中村町8-3 山本岑生方

初期登録	カブ隊	53	4	1
	カブ2隊	54	4	1

光2団の前身は昭和24年5月県下2番目のスカウト隊として発足した光1隊です。昭和30年後半山口国体の頃にはシニア隊も育ち充実した隊活動が行われた。しかし諸般の事情により、隊員の減少、指導者不足により休隊となった。



▲発団式

ぼくは今度入った仮入隊員だ さあガンバロウ

◀カブ隊大運動会

学校の運動会よりおもしろいよ、だって出番が多いもの

▼第1回舎営記念

昭和53年4月、1隊当時のスカウト出身者を中心に再建に着手「スカウト活動はカブ隊からの合言葉、そして発団、光2団として登録、現在カブ2隊編成、来年はボーイ隊の発隊を推進すべく努力中、光2団の今後の課題はリーダーの発掘と養成、そして資質の向上です。



●団本部 徳山市遠石1丁目3-1 遠石八幡宮内

初期登録	カブ隊	54	4	1
	ボーイ隊	25	7	18

沿革 昭和27年 徳山市立岐陽中学校を母体として結成

昭和48年まで同校で活動が続いていた。その間河野、増永、松田各隊長と代を重ね多数のスカウトを世に送り出した。昭和49年 時代の変遷により岐陽中学校を母体とした団活動が困難となり、河野氏宅を団本部として活動 昭和54年 徳山



市民の心のふるさとである遠石八幡宮の黒神公直氏のご理解を得、同神社に団本部を移して、こゝを中心に地域活動に根をおろしたスカウト運動を行っている。永年の夢であったカブ隊を発隊させることが出来充実した活動を展開中、54年度は徳山1団の人生の始まりと云えます。

▲稲かり作業

大自然の中で楽しい食事▶



# ボーイスカウト徳山第4団

カブ隊・ボーイ隊

● 団本部 徳山市相生町1-1 徳山青写真工業内

初期登録	カブ隊	50	4	1
	ボーイ隊	29	5	12



昭  
和  
4  
0  
年  
鼓  
隊  
編  
成  
記  
念

昭  
3  
0  
年  
岡  
寺  
隊  
長  
と

昭  
4  
7  
年  
シ  
ニ  
ア  
長  
距  
離  
コ  
ン  
ペ

発  
団  
記  
念  
キ  
ャ  
ン  
プ  
に  
て



ボーイスカウト徳山第4団

カブ隊の活動

▶カブの地引網

昭54年



昭54年

◀カブボーイ  
合同キャンプ



昭和50年  
救護訓練

昭50年

◀隊長のインディアン姿



●団本部 下松市元町東 1248 永松省治方

初期登録	カブ隊	5 0. 5. 1 0
	カブ2隊	5 4. 4. 1
	ボーイ隊	2 6. 3. 1



(26・1・1)

結成準備隊のスカウト▶



26・4・15

▼初代年少幹部(班長・次長)



下松第1団の沿革

- 昭25年 9月 隊結成準備開始
- 昭26年 3月 下松第2団登録発隊
- 昭29年 4月 山口県連事務局引受
- 昭34年 8月 第10回世界大会  
マニラ 2名参加
- 昭38年 3月 下松第1団と改名
- 昭42年 4月 事務局山口へ移設
- 昭49年 5月 隊クラブルーム完成
- 昭50年 4月 カブ隊発足
- 昭50年 7月 県連需品部引受
- 昭51年 4月 創立25周年記念式
- 昭53年 12月 温見野営場スカウト  
ハウス完成



▲団の活動センター  
約10坪のクラブルーム



廃材と父兄の力で完成した温見野営場の  
スカウトハウス(板間6坪・土間6坪)▶



# ボーイスカウト下松第1団



はじめての隊キャンプ(昭29)



カブ父兄1日入隊を終えて



老人センター慰問(昭53)



夜間ハイキング(昭51)



SS 錦川下り(昭53)

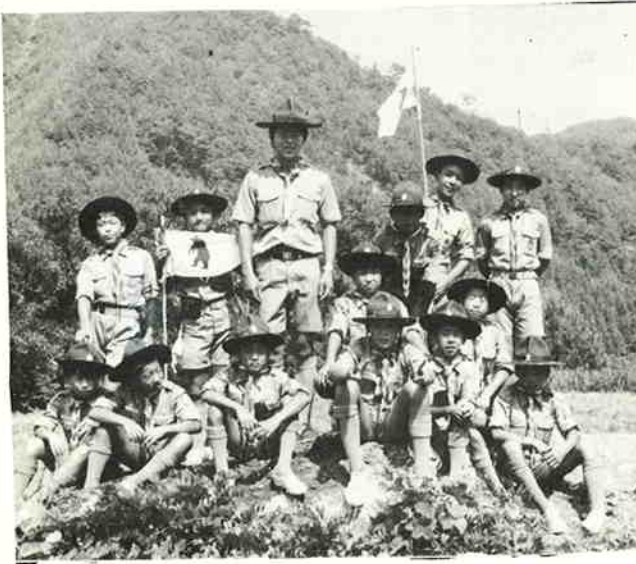


野外パーティー(昭54)

年間主要行事	
4月	上進式、団総会
5月	G B P キャンプ 団家族招待 野外パーティSS
8月	CS 舎宮 BS 隊キャンプSS川下り
10月	オーバナイトハイク BS・SS
12月	感謝祭、SS百軒ハイク
1月	新年会
2月	老人慰問 BP 祭
毎月定例	月末DM・DC会議 第2第3水曜GBP会議 最終日曜BS隊集会 毎水曜SS集会 奇数月第2木曜団委員会

● 団本部 都濃郡鹿野町 鹿野公民館内

初期登録	ボーイ隊	4	1	1	2	5
------	------	---	---	---	---	---



▲53年8月隊キャンプ (パブリック)

沿革 昭和41年5月鹿野ライオンズクラブ発足  
記念に教育委員会の賛同のもとに育成会設立  
12月に加盟登録した。

- 42年5月 発隊式 毎月1回隊集会 春山登り 夏  
隊キャンプ、秋舎営訓練
- 43年 発団1周年記念周南地区合同野営大会引受
- 45年 第5回日本ジャンボリーに初参加
- 47年 指導者の欠員などで隊事務局解散



▲51年県大会の参加スカウト

- 48年 再建に努力し現在に至る
- 51年 創立10周年記念式典
- 54年 20代の青年指導者へバトン  
タッチ



現況

鹿野町は過疎の山村  
で人口が少く、毎年  
5年生を対照に募集  
30人中約10人入  
隊、山々に囲まれた  
土地であり、山登り  
ハイキング、キャン  
プを中心に活動して  
いる。

◀48年周南地区大会にて

●団本部 防府市惣社町6-30 太田耕作方

初期登録	カブ隊	51	4	1
	ボーイ隊	26	33	0

◆私のスカウト小史◆

あれは確か、小学校4年生、昭和35年の夏、同級生と一緒に防府第1団第1隊に入隊した。当時は、第1団第1隊と第2隊だけだったと記憶している。さっそくキャンプに同行し、飯盒炊飯を行った。(その当時、ほんとうはボーイスカウトに入りたかったのは、こういうキャンプやユニホームがカッコウがよかったからだったのだろう。)ところが、ご飯が出来上がるまでに何とマッチ1箱全部使ってしまっていた。その上おこげである。先輩から、さっそくお叱りを受けたのである。その時より自分ながら「これはお遊びじゃない。訓練なんだ」と感じたのである。その後もいろんな訓練や奉仕活動に参加した。また、スカウトの進級試験でよく太田隊長宅を訪れては、「もう一度!!」とウシゴロシを受けた口である。

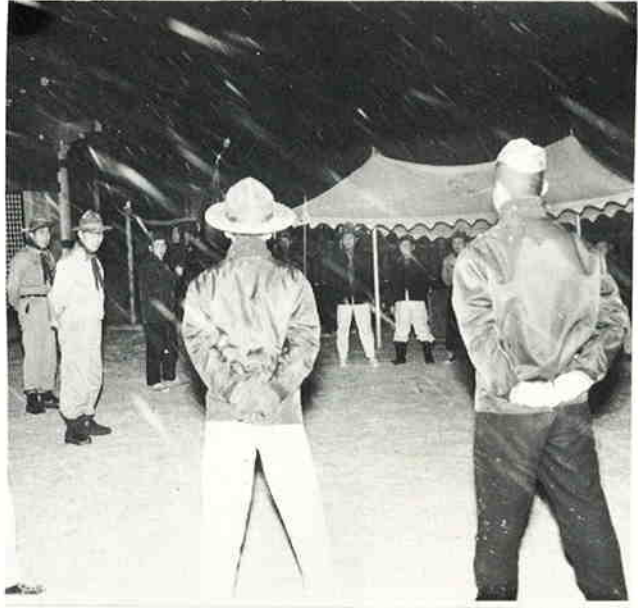
何といっても一番記憶に残っているのが、岡山県津山市日本平で行われた日本ジャンボリーである。あまりに壮大なスケールにビックリし、日本全国の同世代の仲間と話し合ったりして仲よくなり、なごやかに交歓会を行った。つぎに大阪箕面市のスカウトと交歓会を行い、私はその1人に選ばれて大阪に行ったことである。まったく知らない土地に出かけて行ってスカウト活動を行った。

どれもこれも、ここに記せば限りなくらい、身にしみたこと、つらかったこと、愉快だったことが思い出される。

今日に到ってみれば、幼少のころの精神的な発達、健全な心身づくりに非常に役立ったことと確信している。防府のスカウト創立満25周年をお祝いし、今後ともボーイスカウト防府第1団に栄光あれ!!

現 榎丸久 藤原 博

▼36年1月1日 雪の初参で



35年 小郡機関区SL見学



ギルエル実修所 イカダ進水式



35年3地研修大会・秋穂にて

● 団本部 防府市佐野若宮 290-2 重川恭年方

沿革 昭和38年ボーイ隊 昭和51年カブ隊発足  
防府市の北西部 右田、華城地区を対象とした地域団

初期登録	カブ隊	51	4	1
	ボーイ隊	38	4	1

昭51 天満宮裸坊に参加 極東77

▼ 団スカウト参加 拍手喝采ノ

指針 体で覚えたもの(体験)は(体から)離れない  
スカウトは死して後もスカウトだ!

最重点3項目

1. 育成会の強化
2. 指導者の養成
3. スカウトの技、質の向上

▼54年 発団式



主要行事・アメリカ極東77隊、との交歓会  
 ・社会見学・サイクリング  
 ・月見会・親子ハイク  
 ・各種の奉仕活動

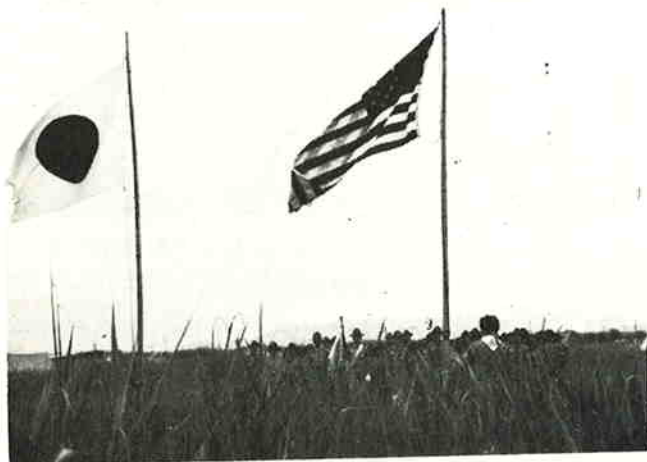
特色  
 ・アメリカ極東77団とのつながり  
 ・地域内の児童施設海北園の上級生が一般社会との交流を目指し当団に加盟している。



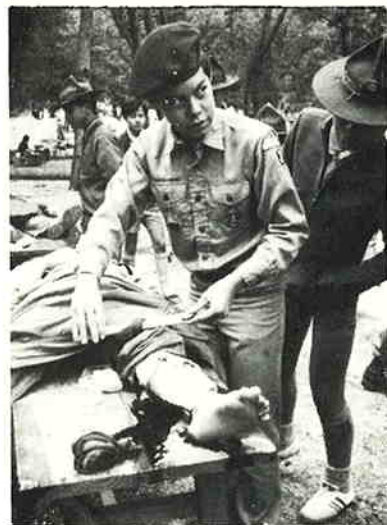
▲乗れるかな? (技能会)



雪中訓練



▲アメリカ極東77団と交歓野営



▲ボレー・カップ・育成会合同レク

▲うあ痛そう(救急技能講習会)

日 刊 新 防

よく活動B・S防府第2團

### 方便山山野営

米極東77隊と交歓 関係的に

防府、山と竹葉

「防府山と竹葉」は、防府市に所在する、約100年もの歴史を誇る、防府市立の自然公園である。その美しい自然環境を活かして、防府市立の自然公園を、市民の憩いの場として活用している。防府市立の自然公園は、防府市に所在する、約100年もの歴史を誇る、防府市立の自然公園である。その美しい自然環境を活かして、防府市立の自然公園を、市民の憩いの場として活用している。

防府市立の自然公園は、防府市に所在する、約100年もの歴史を誇る、防府市立の自然公園である。その美しい自然環境を活かして、防府市立の自然公園を、市民の憩いの場として活用している。

●団本部 防府市華浦1丁目3-22 山田義昭方

初期登録	ボーイ隊	40	528
	ボーイ2隊	53	41

防府市内のボーイスカウトの隊員の増加により、各地区に団が生れる中で、昭和40年4月防府第4団は発団した。

当時私は中学校1年生でスカウト歴3年目のようやくユニホームが板につきかけた、頼りない隊員であった。

我が子の性格的弱さが、身体を鍛えるために保護者の方が入隊の申し込みに現在来られることがあるが、自分が入隊の時の姿がふと脳裏にうかび思わず苦笑することがある。

そんな自分が今でも制服を脱がずに、ずっとスカウトとしてまがりなりにも生きてこられたのは、やはり山田隊長の指導のおかげと思っている。

発団以来、隊長一人で10年間やってきたが、この間隊長の苦労は他の団のそれと勝るとも劣らないものがあつたと、自分が隊長になった今、つくづく身にしみ感謝の念が湧き上るのである。

53年8月 遠征キャンプ(島根県益田市にて) ▼



—九州大会の思い出—

我が団の最高の思い出は、1昨年の第2回九州大会であったと思う、前年の秋、九州で大会開催の情報をキャッチ、着々と準備と訓練を重ねて、山口県スカウトの意気を発揮すべく、防府2団と混成により、関門ゲート、発電機によるイルミネーション、集会用大テント、観光案内用パネルなど大道具をはじめとして、奇兵隊の踊りと剣舞を披露すべく、全員が衣装やのぼりなどを夜おそくまで作った。営火用に防府天満宮の裸坊祭りを挙行、ふんどし姿が阿蘇高原に乱舞した。40名の派遣隊であったが、九州地区スカウトはもとより愛知、岡山など県外スカウトから、さすが防長健児と賞賛を浴びたことは記憶に新しい、今でも九州大会と聞くと興奮を覚える。

発団以来、多くのスカウトが入団し去っていき、また進学や就職により県外に住んでいるが、ベーテンパウエル卿の「ひとたびスカウトになりし身は、死して後もスカウトである」の言葉通り、それぞれの胸の中に防府4

団での思い出がきざまれていると思う。発団以来の一貫した教育方針は今後も受け継いでいきたいし、それが発展につながるものであると確信している。

隊長 永田記

●団本部 防府市八王子1丁目26-27  
カトリック教会内

初期登録	カブ 隊	4	1.	5.	6
	ボーイ隊	4	1.	4.	1

▼炊事は燃料集めから



▲設営・国旗掲揚柱から



▼1977年夏 萩清ヶ浜 食事の準備開始



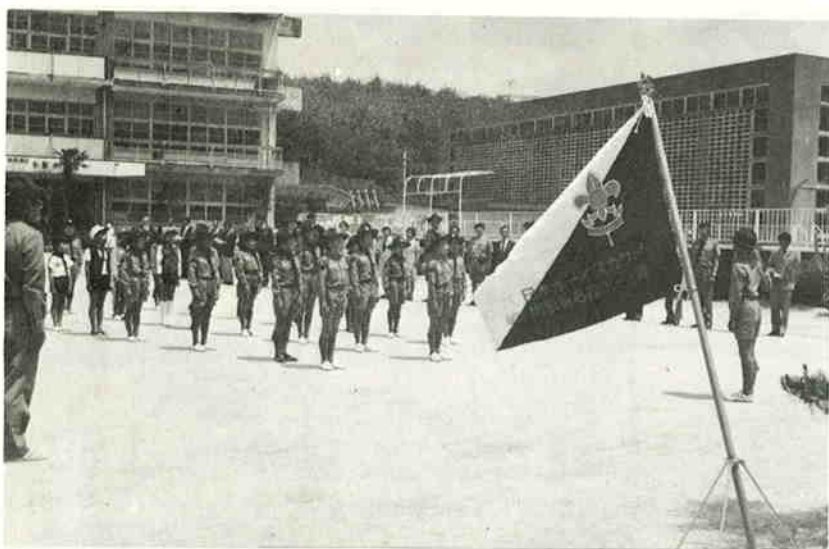
▼さてどんな料理ができるのかな



●団本部 防府市奈美599 森重 豊方

初期登録	ボーイ隊	5	4	4	1
------	------	---	---	---	---

防府6団は今年5月に発団しましたボーイスカウトの一年生です。育成会24名 団委員5名 指導者3名、スカウト12名の小規模団です。学校をはじめ、地区の方々の多大な協力により地区全体のボーイスカウトとして活動しています。



何分にもはじめてのことですので、組織づくり、活動内容等に大へん苦勞しながら、自分たちで勉強し活発な団として運営していくという活気だけはムンムンです。  
ボーイスカウト一年生を暖かい目で見守って下さい！





●団本部 山口市古熊1-8-9 永久鉄哉方

初期登録	ボーイ隊	24	4.24
------	------	----	------



―隊旗授与式―昭和34年

団の現況と生い立ち

昭和25年頃市内に9ヶ隊を数えるまでになっていたが昭和34年には1隊を残すのみとなった。その頃山大の学生の声援と理解ある方々の協力でスカウト協議会再発足、名誉会長に兼行市長、理事長に大久保氏を迎え、旧市内を対象に第1回隊員募集を行った。

昭和34年12月19日仮入隊式、翌35年4月大殿地区スカウト19名を中心に第2団として登録、39年シニア隊発足したが45年頃より活動が低調になった。34年当時の隊員を中心に拡充を計画中である。

奉仕活動は祇園祭、提灯祭の交通整理、36年西日本大会にはるり光寺五重塔のパネルを持って参加した。



発団当時のスカウト(二期生)



西日本大会参加スカウト

●団本部 山口市葵1丁目4-44 伊藤 光方

初期登録	カブ隊	50	4	1
	カブ2隊	53	5	9
	ボーイ隊	36	11	20
	シニア隊	50	11	20

県連盟結成の翌年昭和24年1月東山嘉川、附属中の3隊が発足以来、紆余曲折を経て36年11月20日湯田地域を主軸とした隊に改編して誕生した。

亀山隊長以下スカウト26名、遠く阿知須町から8名のスカウトが25キロの道程を自転車で隊集会に参加していた。山口国体、観光夏祭など、地味ながら澆刺とした活動をつづけ、46年団委員改選などにより団活動に拍車加わり、52年2月21日山口市初のカブ隊を雪の中で発隊、同年シニア隊、更に53年にはカブ2隊を結成して組織の充実が図られた。結成以来の育成につくされた作間会長の温かい支援が力になっている。

年間主要プログラム

春	東鳳べん山クリーン作戦 準挑戦キャンプ団ソフト大会 ゴーズ (55キロ) ロードバイク 観光夏祭交通整理奉仕、観月バイク
夏	隊キャンプ (3泊4日) 舎営
秋	東西鳳べん山縦走バイク 山口天神奴子行列奉仕
冬	ユニセフ募金 越年初詣 BP 祭

昭24年 湯田小学校がユニセフ給食を受けたことがあった。スカウト達の総意で恩返しとなる募金に市民の善意を呼びかけている。

昨年募金約100万円を送金した。



▲湯田温泉街清掃奉仕

救急法実習▼



▼ユニセフ募金 (呼びかけはしない募金)



●団本部 山口市亀山町4-1山口カトリック教会内

初期登録	カブ隊	5	4	4	1
	ボーイ隊	4	4	4	1



昭54年5月 白石山登山

昭和44年4月  
山口のシンボル  
サビエル教会に  
産声をあげ、本  
年で10年を迎え  
ました。10年1  
昔といいますが  
この間多くの隊  
員を送り出しま  
したが残念ながら  
進学、就職等  
でこの団に残っ  
ているのは隊長



▲美東町景清洞キャンプ場にて

のみと云う淋しい結果ですが、いつの日が戻ってくるのを気永く待ちませう。

5団は教会に関係した行事奉仕が多く運動会街頭募金、教会の清掃の他合宿、野営、進級式サイクリング、登山、ソフトボール、夏祭奉仕などを行っている。ジャボリーの参加は貴重な体験と良き思い出となった事でしょう。

10周年を記念するが如く念願のカブ隊の登録を見ることができ、大世帯となり沈みがちな団に活を入れ、心機一転新しい隊作りに励んでいる。



▲いも畑作り

●団本部 宇部市松島町 8-21 佐伯正道方

初期登録	ボーイ隊	30	7.19
------	------	----	------

昭和29年中板氏によって宇部短大学長、新造先生、新川、鴉の島両小学校区民生委員協議会、町内会長会、小中学校に働きかけ多くの協力を待て30年4月1日発足した。

4年後室素隊(13団)の発団により隊長辞任11団の経続の可否について協議の末、三宅副長の隊長就任と多くの協力で廃隊の危機をのがれることができた。

その後隊集会にたった1名の出席と云う淋しい時もあったが20有年経過した今日、入隊希望者も多数となり宇部市の唯一の地域団として活発な活動をつづけることが出来るようになった。

## ボーイスカウト宇部第11団創立20周年記念



50年4月 あいさつの佐伯団委員長



▲ばんざい訓練

我が団の信条(反省とその実行)

1. よくあいさつをする
2. 父母の云われることを良く守ろう
3. 「うそ」を云わないこと

歴代役員

育成会長	初代	新造節三	現	師井庸夫
団委員長	初代	弘中定一	2代	村上 誠
		現		佐伯正道
隊長	初代	中板孝祐	2代	三宅和夫
		現		佐伯正純



▲団キャンプのたのしい食事

● 団本部 宇部市西本町 宇部興産本社人事課内

初期登録	カブ隊	50	525
	ボーイ隊	34	76

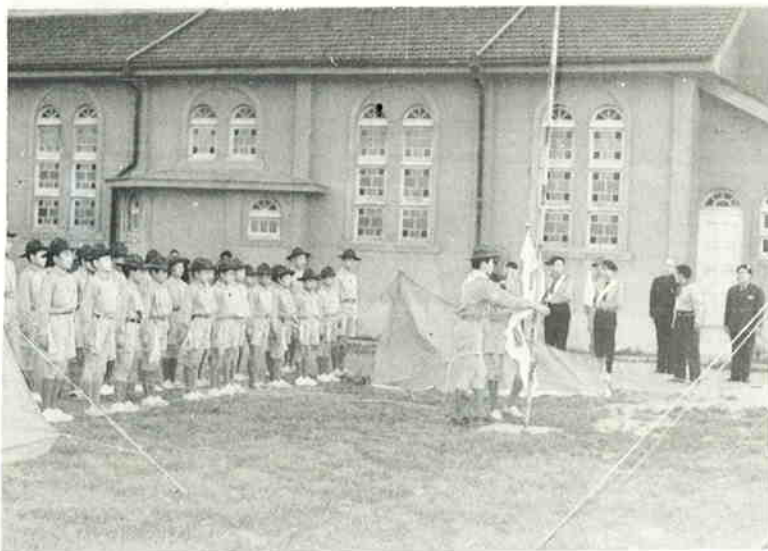
団年表

年	BS	SS	L	計	行 事
34	32		7	39	
35	29		7	36	
36	41		6	47	西日本大会(岡山)
37	40		5	45	アジアジャンボリー
38	41		8	49	県大会(防府)
39	43		9	52	興BSGS大会附野
40	38		5	43	興BS大会万年池
41	25		6	31	4NJ(岡山) 興BS海浜レク秋穂
42	16		6	22	
44	18		5	23	県創立20周年 記念大会(玖珂)
45	15		6	21	5NJ(富士)
46	14		5	19	13WJ(〃)
47	29		5	34	3.4地区合同 野営大会・江汐
48	29		6	35	
49	40		5	45	6NJ(北海道)
50	28	24	7	59	15周年記念行事 カブ隊発足
51	17	38	10	65	県大会・山口
52	24	28	7	59	
53	23	54	10	87	7NJ・御殿場
54	19	36	11	66	県30周年大会 防府



●団本部 宇部市琴芝町1-1-59 カトリック教会内

初期登録	カブ隊	41	4	2
	ボーイ隊	38	4	20



▲発団式  
38年4月

生いたち 昭和38年4月  
宇部カトリック教会サンチエズ  
ザビエル神父の努力によって宇部  
15団として発隊登録をされた。

あゆみ 昭和39年就任以  
来今日まで永富正志育成会長の経  
済的、精神的バックアップにより  
活動がつづいている。その間団委  
員長桜井先生の死去は15団はも  
とより、地区県連とも功績が大で  
あり、おしまれてならない。

昭和41年11月カブ隊の結成  
をみた。

現況 カブ隊22名ボーイ隊  
17名 シニア、ローバー9名に  
指導者、団委員16名の構成毎週  
日曜日10時より元気に隊、班そ  
の他の諸活動に励んでいる。



●団本部 宇部市松山町1-10-1世界救世教宇部布教所内

	カブ隊	53	9.20
初期登録	ボーイ隊	53	1.6

生いたち

世界救世教山口県本部を主体として育成会を結成、昭和52年10月発団目標を53年2月として活動を開始した。

ボーイスカウトの知識がないため、講習会等に参加、スカウトの第1歩より勉強、スカウト活動のすばらしさを知り、将来の日本人、人類の指導者的役割を果さんとする社会人の育成のお手伝いになるものと考え、準備をすすめた。

昭和53年12月12日多くの祝福の中発団することが出来ました。

団のあゆみ

54年8月発団1年目、日本ジャンボリー見学隊を組織、活動の実態と楽しさを体験以来活動が活発になりました。

ハイキング、キャンプ、社会奉仕、宇部市の技能体育祭、BP祭等の諸活動に積極的に参加53年11月カブ隊の発隊をみるに至る。



特色

野外活動として1反余の畑を借り、ボーイ、カブ父兄、団委員が持分をきめ、作物作りを通じて健康で明るく、社会人としリーダーシップのとれる青少年育成に努力しています。



●小野田市新生町 小野田市教育委員会 社会教育課内

小野田市には、かつてボーイスカウト隊が結成され活動にみるべきものがあったが消滅した。市は青少年の健全育成の一端としてその再興に力を入れ、48年8月経験者、関係者が集り協議、その後各層の協議会、準備委員会、県連の説明会、隊員募集、指導者の養成と選任、有志育成会員募集等を経て、49年11月30日、結成総会を開催、地域的關係でボーイ隊2隊を編成、役員、指導者を選出する。

50年3月23日、県連審査、発団式を市民館で挙行翌51年カブ隊加盟登録、54年シニア隊を登録した。

(活動)

デンマザー会議毎月1～3回 カブ組集会週1回  
カブ、ボーイ隊集会月1回 ボーイ班会議月2回シニア隊 集会月1回、育成会、団会議、団委員会、合同連絡会議随時

初期登録	カブ隊	51	622
	ボーイ隊	50	41
	ボーイ2隊	50	41
	シニア隊	54	41



▲社会を明るくする運動参加



▲52年安全運動  
バイパスの清掃も



◀52年6月魚つり大会

フナ約200匹

コイ1匹



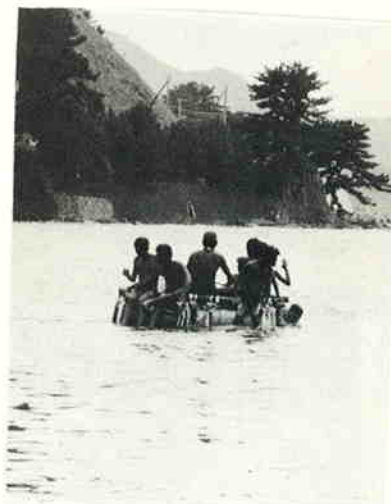
# ボーイスカウト小野田第1団



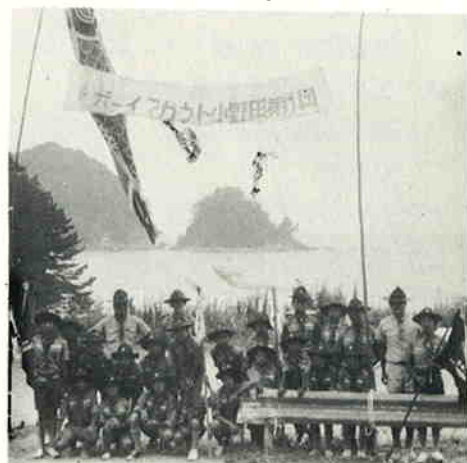
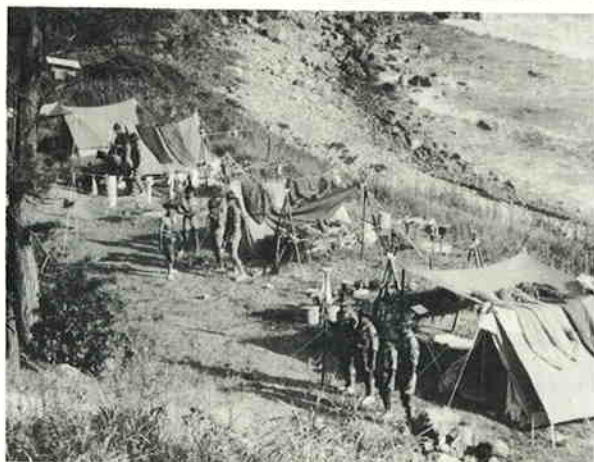
5 3. 8 オーストラリア・ビクトリア少年合唱団と交歓会  
なまりのひどい英語……なかなか言葉は通じなかつたが子供たちはすぐ仲よくなる

いこの村 江汐にて

おのだ祭53 11 3 ▶



52年 8月  
山陰宇田郷にて  
隊キャンプ



●団本部 厚狹郡山陽町埴生 堀 初義方

初期登録	カ 隊	4 6.	4.	1
	ボーイ隊	4 5.	1.	6
	シニア隊	5 3.	4 2 7	



団のあゆみ

年	年 事		
		48	由布ヶ岳登山 25名
44	4月山陽町地域団として発団準備開始	49	第6回日本ジャンボリー参加記念
	8月仮入隊員の訓練開始 11月審査		隊舎増築 事務室木造小屋完成
45	2月11日発団式(埴生公民館)	50	隊キャンプ場に山小屋落成
	8月第5回日本ジャンボリー参加	51	平尾台キャンプ
46	カブ隊発足	52	鼓隊編成
	隊舎落成(木造トタンぶき 約9坪)	53	シニア隊発足
47	50周年記念野営大会参加		第7回日本ジャンボリー見学参加
	班の小屋作り(各班 約2坪)	54	九重登山 9名

宝もの

- 発団当初公民館で訓練を行っていたが手せまとなり小学校隣接の町有地約300坪を借り隊舎をたてた
  - キャンプ地として山林を借り受け約15坪の山小屋(2階建)を作り他の団も利用されている。
  - 地域行事に参加のため 52年鼓隊を編成した。
- 宮の森キャンプ場と山小屋 ▶



●団本部 下関市上新地町5-6-1 文洋中学校内

初期登録	ボーイ隊	33	9.8
------	------	----	-----

生いたちとあゆみ

○大正12年11月10日「竹崎少年義勇団」として発足（団員約300名）

○昭和2年8月 福岡県第1回指導者講習会に中丸岩吉先生（先達）参加、ボーイスカウト教習法に従って訓練を行った県下スカウトの前身となった。

○戦後 昭和30年文洋中学校の課外クラブの一つとして発団現在に至っている。



▲地下道清掃奉仕



◀隊キャンプ食事のひとこま

学校運動会で  
デモストレーション  
▼

現況ー 中学校の課外クラブのボーイスカウト隊は珍らしく、他の学校スカウトはほとんど消滅した。隊活動集会はたやすく指導者が教師のため家庭の協力連絡が得やすい反面、カブ隊が出来ず、財源にとほしく指導者の転勤による団の在続に大きな難点がある。



● 団本部 下関市貴船町2丁目16-11 小林信義方

初期登録	カブ隊	4	5	1	1	9
	ボーイ隊	4	5	4	1	0

昭和42年頃、1小学校の子供を対象に準備を始めたがなかなか発団に至らず、やっと3年目の45年11月9日先輩や初代団委員長の骨折りでカブ隊のみの団として発足、仲間入り、数年間の基礎作り、カブの生長にともない47年4月ボーイ隊を発隊させた。

カブ隊も入隊希望者が近隣小学校区にひろがり、現在旧市内の小学校区（8校区）を対象にする大範囲の地域団となった。

53年2月SS隊発足、地域清掃活動で52年カブ隊善行綬を受賞、育成会の理解に支えられ、必要最小限の援助で、おきての質素の実践、しかしより良いスカウト訓育のための指導者養成には全力を傾注、講習会、研修所、実修所等多くの終了者がある。

スカウトの成長をまち、指導者の体制をととのえる計画、でもよろこばしいことに現在、親子2代にわたる指導者が2組いることだ。故森 基教→森 法房 小林信義→小林昌樹 またこの2組とも共通の出来事がある。それは皇太子殿下を通じてのことで 森基教隊長の健児手帖と恩賜のたばこ（20年史記載）森 法房にとっては昨年の7NJでスカウトを連れて参加した中央広場で小林昌樹が赤間神宮のハッピーを着ていたため殿下から「下関から参加ですかとお声をかけられた時に感謝ひとしおではなかったらうか。又CS善行綬に関係深い早朝の赤間神宮の清掃奉仕に6年間無欠席で参加した小林昌樹にとっては又報われたという感があったのではなかろうか。

今日の下関7団の誕生に大へん力をお借し下さった先輩に感謝をし活動をつづけることをちかうものです。



●団本部 下関市小月町 1751 小月神社内

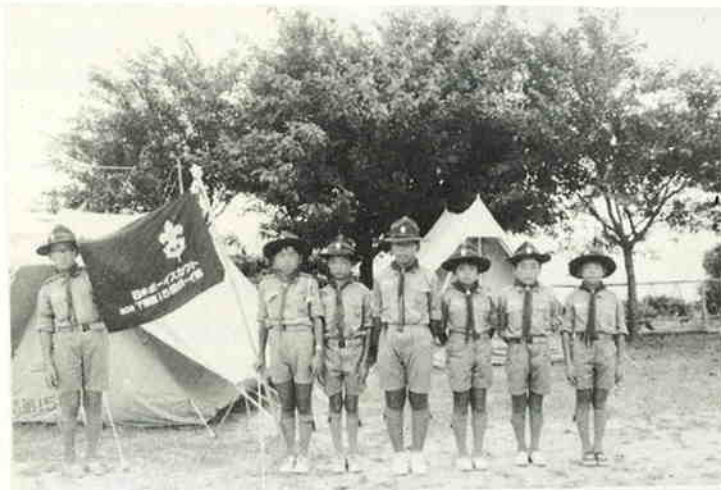
初期登録	ボーイ隊	5	2	4	1
------	------	---	---	---	---

小月神社を育成母体として、少年に信仰心をもたせ、神社の森を生活の場とし、神社神道の基本を修得し、世代を担う青少年の育成を計る目的で発団した。

町内ゴミひろい奉仕▶



団夏期キャンプ▼



団のあゆみ

51年 3月 神社神道教化活動の一つとして計画

7月 小5、6年を対象に募集

8月 説明会

52年 3月 加盟登録

全国神社スカウト協議会加盟

5月 発団式

51年 10月 小月神社祭みこしかつぎ

53年 3月 発団2年記念キャンプ

小月長寿会員招待

4月 下関東部地区

交通安全パレード

7月 団キャンプ

52.5 発団式▶



●団本部 下関市山の田中央町13-1 山の田小学校内

初期登録	カブ隊	48	427
	カブ2隊	50	41
	ボーイ隊	45	101



生いたち

山陽、山陰の分岐点幡生駅を中心に戦前農村地帯の幡生地区と新興住宅地区の山の田地区をほうがんした地域団です。

生野小、山の田小か出来、続いて山の田中学が新設された昭和44年、中学校を中心に3校P T A、地域の方により「青少年健全育

成に最も適したものとの結論により山の田団設立準備委員会が結成、45年下関6団として学校体と地域体を併合した姿で誕生した。40年カブ隊 発足、その後スカウト増にともないカブ2隊を併設した。

指導目標

「スカウト理念に立脚した節度ある人間づくり」に向って躍進しています。年毎の多人数化に対応する指導者の確保が意のままにならないが発団当時のスカウトが指導者として参画隊の若返りと充実した活動が期待されます。スカウト活動が10年の歳月を得てこゝに実った感



# ボーイスカウト下関第6団



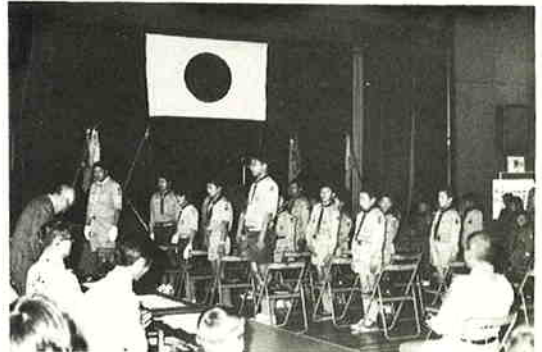
団の運営について昭和51年4月規約改正  
育成会、団委員会、カブ、ボーイ各隊の4規  
約とし、特に団委員会には総務、組織、指導  
健康安全、年少、財政、進歩の8部を設置、  
正しい団運営、活動の普及に努力している  
今年10年目を迎え記念行事を計画中

●団本部 下関市長府町松小田2丁531-2 吉武勇司方

初期登録	カブ隊	53	4	1
	ボーイ隊	26	7	25

ボーイ隊は今年で26年目です。昨年25周年式典を開くことが出来ました。団のある長府はボーイスカウト活動に古くから縁のある町です。それは乃木希典將軍の出生の地でまた將軍はイギリスでBPからスカウテングの意義を学び、日本のスカウトの歴史に一役貢献されておられるからです。我々の知るところでは昭和元年に健児団が結成され、50才60才の年令の方から、私も子供の頃スカウトでしたと聞くことがあり、本当に喜しく思います。

52年8月カブ活動を開始、53年2月結成式を行い念願の登録をすませました。各組のデンマザーの方が隊長の影がうすくなるほど熱心なお世話をしていただき、カブ活動が意義あるようにと、母の会父の会も開かれるようになりました。卵からやっと生れたヨチヨチ歩きのヒヨコカブ隊です。みんなで一生懸命がんばりますのでよろしくお願いします。



年間主要行事

- 10月月の輪結成 12月夕べの集い歳末助合い
- 1月初会合 2月BP祭 3月班長講習
- 4月ハイク、団総会 5月子供の日集い
- 7月舎営、隊キャンプ 8月地区キャンプ
- 9月反省会



●団本部 長門市仙崎南町 仙崎支所内

初期登録	ボーイ隊	29	8.14
------	------	----	------



昭和26年3月巡視船見学(仙崎港)



昭和46年11月20日～21日  
菽団創立15周年記念大会パレードにて



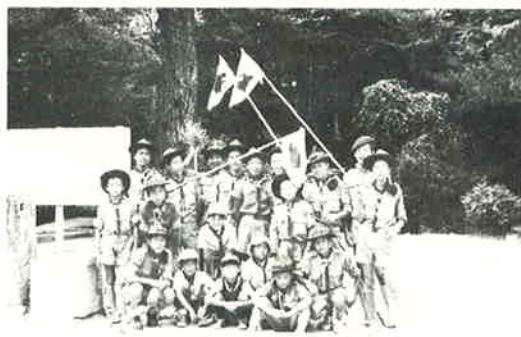
昭和45年8月 第5回日本ジャンボリー



昭和47年 8月17日～20日  
日連50周年記念地区大会(大井)  
はやカゴ



昭和47年8月10日～12日 隊キャンプ豊田町石柱溪



昭和48年8月17日～22日  
移動キャンプ最終日(大寧寺)

●団本部 萩市江向3区 萩市中央公民館内

初期登録	ボーイ隊	3	1	1	1	2	8
	シニア隊	3	5	6	1	3	

我が国は3つの「ちかい」を理想像として「12のおきて」を日常生活の信条とするよいスカウト達の集団です。

昭和31年11月 萩市中央公民館でうぶ声をあげて、ボーイ隊は25年、シニア隊は20年を迎えた。その間、紆余曲折を経たスカウト活動であったが、地域の暖かい援助のもとに海と緑の大自然に恵まれた環境で、規律ある中にも自由奔放に活動できたことは、スカウトにとって最高の賜物である。またスカウト達にも活動の中に指導者のはかりしれない何か素晴らしい魅力を班内で育み大切にしていたのであろう。それぞれの活動の中に、だれ一人腰をおろしている者はいない。何かコツコツと体をうごかしていた。そして予想もしない企画を持ちこんで指導者を驚かしていた。

近年オーバーナイトハイク、阿武川いかだ下り、無人島、での準挑戦キャンプなど、それらに対応する指導者は勉強不足で冷汗の連続、しかしスカウトの冒険心を満すことにより多くの社会的条件をのりこえ、菊隼富士への努力は良き社会人への育成につながり、責任の重大さを感じる。

スカウトは育ち、指導者はかわっても「ちかい」と「おきて」を守れば、日々是好日である。



阿武川いかだ下り



食事の用意？



51.12.16 20周年記念として  
ボーイ副隊長・百万一心旗新調



萩3団マーク  
(三矢の訓)



●団本部 萩市堀内1区 春日神社内

初期登録	カブ隊	4	6	1	1	6
	ボーイ隊	3	1	1	1	2

昭和31年4月 結成準備開始、8月の講習会終了につづいて11月に発隊式を行う。各種日連、県連、地区の大会に参加し、隊キャンプも、大山、九重山、三瓶、彦山、徳佐峰、ラカン山、秋吉台等広域にわたり、46年にカブ隊を発足、51年4月には団集会所を完成されるなど充実した活動を続けている。52年には20周年記念行事も行うことが出来た。



▲昭45.8  
第5回日本ジャンボリーにて  
日曜礼拝の津村団委員長



—我が団の自慢—

昭和51年春、我が団の集会所が出来た。発団20周年記念行事として将来に残すものは…育成会員、宮本徳蔵氏が鉄骨工事、田中隆氏の大工工事の無料奉仕、その他150万円の寄附により予定より格段に立派な建物が出来上った。電気、水道完備、外装武家屋敷風で特別指定地域にふさわしい、いたれりつくせりの集会所、今後地域社会のためにも大いに尽すことができるであらう……



●団本部 萩市西田町 萩別院内

初期登録	カブ隊	43	828
	ボーイ隊	46	67
	シニア隊	51	322



発団当時のカブスカウト(昭43)

昭和43年カブ隊登録して本年で11年目を迎えました。隊長1名、副長1名、カブスカウト6名の小世帯で発団、現在ではカブ隊ボーイ隊シニア隊で70名以上になりました。

順風満帆でなかった10年間、5年目の、80名をピークに指導者の不足等によって活動の衰退をまねいたけれども何とか危機をこえ今日内容の充実に向けて着実に前進しています。しかし学校のクラブ、塾などによる集会のすいたいは我が団も悩みの一つです。



昭46第13回世界ジャンボリー見学隊員



▶楽しいカブ集会

—じまん—

萩6団は強力な育成会とアマチュア無線クラブをもっていることです。

育成会は一般父兄に加え、本願寺萩別院という法人会員を有するが故に、その精神的後だて

はいざという時に強力な力を発揮してくれます。一人一人が宗教をもつという活動がやりやすく技能面で不足があっても精神的活動に重点を置くことが出来ます。アマ無線は48年発足現在10名で運営しています。



昭46' 隊キャンプにて



昭48 発団5周年記念行事

● 団本部 大津郡三隅町野波瀬 極楽寺内

初期登録	ボーイ隊	44	41
------	------	----	----



史蹟めぐりサイクリング  
炊事ハイキング ▼



町民体育大会



卒業生送別会

〔年間主要行事〕

4月	花まつり
	町民体育大会
5月	ハイキング
7月	サイクリング
6月	清掃奉仕
7月	キャンプ
8月	仏教章研修会
9月	ハイキング
10月	サイクリング
11月	町文化祭
12月	ユニセフ募金
1月	新年集会
2月	廃品回収
3月	送別会

54年度  
スカウト数

学年	数
中3	8
中2	7
中1	9
小6	12
計	36

〔団の特徴〕

野波瀬は280数戸の漁村部落で、地域の小学6年から中学3年の殆んどがスカウトに入っている。(他の地域はスポーツ少年団が活動)中学生は全員クラブ活動しているので、野外活動の機会が少なく、集会は土曜の夜、出席率はよい。

仏教スカウトとして毎年、仏教章研修会に参加

年 度	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54
スカウト数	26	25	31	34	34	33	33	33	37	35	35	36
指 導 者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6

年間約30回の集会や行事を行なう

## ボーイスカウト防府第3団

ボーイ隊

●団本部 防府市牟礼1010市営住宅23-5542 中島英夫方

初期登録	ボーイ隊	38. 4. 1
------	------	----------

## ボーイスカウト秋穂第1団

ボーイ隊

●団本部 吉敷郡秋穂町下村 佐野照輝方

初期登録	ボーイ隊	35.11. 2
------	------	----------

## ボーイスカウト小郡第1団

カブ隊・ボーイ隊

●団本部 吉敷郡小郡町 山手下 小郡町公民館内

初期登録	カブ隊	40. 6.22
	ボーイ隊	33. 9. 8

小郡町では青少年教育の一環として昭和27年11月3日吉敷第2隊を結成、28年吉敷3隊が出来、33年2隊合併して吉敷4隊として発足、37年小郡1団と隊名が変わり、40年6月、カブ隊が発足した。中村政一育成会長19年森重利雄団委員長21年現在その任にあり功績大、町及び公民館の理解と指導をいただき事務所を公民館の一室におかれ代々公民館長が力をいられ今日の盛隆をみているものです。

## ボーイスカウト須佐第1団

ボーイ隊

●団本部 阿武郡須佐町 須佐公民館内

初期登録	ボーイ隊	38. 6.10
------	------	----------

昭和53年度登録

ボーイスカウト山口第1団	ボーイ隊	初期登録	ボーイ隊	24. 4.24
” 宇部第13団	カブ隊・ボーイ隊	”	カブ隊 ボーイ隊	48.4.1 33.11.24
” 下関第1団	ボーイ隊	”	”	
” 下関第14団	”	”	”	51. 7. 9
” 豊浦第1団	”	”	”	53.
” 萩 第4団	”	”	”	31.11.28
” 萩 第7団	カブ隊・ボーイ隊	”	カブ隊	48. 7.21
”			ボーイ隊	48. 7.21
” 美祢第2団	ボーイ隊	”	”	35.12. 8

# ボーイスカウト山口県連盟規約

	<b>第1章 総 則</b>
名称及び事務局	第1条 本連盟は、ボーイスカウト山口県連盟と称し、事務局を事務局長の所在地に置く。
目的	第2条 本連盟は、ボーイスカウト日本連盟の目的・基本及び諸規定並びにその方針に従い、県内のボーイスカウト運動を推進し、地区相互間並びに同様の目的を有する県内の他の団体との間に友好関係を築くことを目的とする。
事業	第3条 本連盟は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。 1、指導者の養成並びに資質の向上に関する事項 2、各地区、各団の指導援助並びに連絡提携に関する事項 3、ボーイスカウト運動の啓発普及に関する事項 4、その他の運動達成のために必要な事項
加盟登録	第4条 本連盟は、年次総会終了後直ちに日本連盟の規定に従い登録をする。
	<b>第2章 組 織</b>
組織	第5条 本連盟は、ボーイスカウト日本連盟に加盟登録されている県内の団をもって組織する。
地区	第6条 本連盟は、連盟地域内の地理的条件、加盟団の状況及び社会形態を考慮して、原則として次の地区に区分する。 第1地区 岩国市、柳井市、玖珂郡、熊毛郡、大島郡 第2地区 光市、下松市、徳山市、新南陽市、都農郡 第3地区 防府市、山口市、吉敷郡、佐波郡、阿武郡阿武町 第4地区 宇部市、小野田市、厚狭郡 第5地区 下関市、豊浦郡 第6地区 長門市、美祿市、萩市、美祿郡、大津郡、阿武郡（第3地区に属する地域を除く）
	<b>第3章 会 議</b>
会議	第7条 本連盟の会議は、総会・理事会・常任理事会・名誉会議及び各種委員会とする。
総会の開催と招集	第8条 本連盟は、毎年一回春季に年次総会を開催する。また、必要に応じ、理事会又は3分の1以上の総会議員の要求により臨時総会を開催することができる。
総会の構成	第9条 総会は、次に掲げる議員をもって構成する。 1、日本連盟の正式加盟団を代表するもの（団委員長より1名、各隊の隊長及び副隊長ごと1名） 2、本連盟の役員 3、1項の議員が、2項の議員を兼ねる場合は、代理人を1項の議員として選定しなければならない。
総会報告承認事項	第10条 次の事項は年次総会に報告し承認を受けるものとする。 1、年度内における本連盟内のスカウト運動の概況 2、予算及び決算並びに会計経理の状況
理事会の務	第11条 理事会は、本連盟の目的を達成するために重要事項を協議決定し、本連盟の維持、業務の執行及び運営の責に任ずる。
理事会の構成	第12条 理事会は、理事長・副理事長・理事をもって構成し、理事長がこれを招集する。理事でない運営委員会及び特別委員会の委員長・県コミッショナー及び県副コミッショナーは、随時これに参加し発言することができる。ただし、理事以外の役員は議決に加わらない。
常任理事会	第13条 常任理事会は、理事長・副理事長・県コミッショナー及び事務局長をもって構成し、緊急事項について審議する。
名誉会議	第14条 名誉会議は、県コミッショナー・名誉会議議員及び事務局長（議決に加わらない）をもって構成し、必要の都度県コミッショナーが招集し、本連盟の名をもってする表彰・感謝等の名誉及び名譽にもとる事項を審議決定する。本会議の決定事項は理事会に報告する。県副コミッショナーは、随時名誉会議に出席し発言することができるが議決の數に加わらない。

運営委員会	第15条 理事会は、その本務を達成するため次の運営委員会を設ける。 1、組織・拡張委員会 2、指導者養成委員会 3、進歩委員会 4、野営・行事委員会 5、健康・安全委員会 6、財政委員会 運営委員会は、当該委員長と地区の運営委員長をもって構成する。当該委員長は、理事会の議を経て理事長が理事・県コミッショナー又は県副コミッショナーの中から委嘱する。
役員	第16条 運営委員会の役員は次の通りである。 1、組織拡張委員会 (1) 本連盟地域内のボーイスカウト運動の一般的広報と宣伝に関する事項 (2) 団の登録審査に関する事項 (3) 加盟登録に関する事項 (4) 育成団体に関する事項 (5) 本連盟地域内における他団体との連絡協働に関する事項 (6) 本連盟内の各種組織の拡張とその運営に関する事項 (7) 本連盟地域内における本運動の普及、同及び隊の分割設立に関する事項 (8) その他本連盟内のスカウト組織及びその拡張に関連する事項 2、指導者養成委員会 (1) 本連盟の年間指導者養成計画に関する事項 (2) 本連盟主催の指導者養成機関の開設並びにこれらの講師の選定に関する事項 (3) 指導者養成機関で行う指導者の指導能力向上施策に関する事項 (4) その他の指導者の訓練に関する事項 3、進歩委員会 (1) 本連盟内のスカウトの進歩を促進する方策に関する事項 (2) 調査受面接の基準の維持とその推進に関する事項 (3) 面接委員会の設置とその運営に関する事項 (4) 記事の申請及び記事授与式開催に関する事項 (5) 技能章審査員選定委嘱と考査網の拡大及び考查実施の援助促進に関する事項 (6) 技能章指導員の委嘱促進に関する事項 (7) その他の進歩に関する事項 4、野営・行事委員会 (1) 本連盟の年間行事計画に関する事項 (2) 本連盟が主催する行事の実施計画に関する事項 (3) 本連盟地域内の対外奉仕作業に関する事項 (4) 本連盟地域内におけるすべてのスカウトの野営の指導、監査に関する事項 (5) その他の野営及び行事に関する事項 5、健康・安全委員会 (1) 加盟員の保健に関する事項 (2) スカウト作業、行事における衛生、安全に関する事項 (3) 傷害保険に関する事項 6、財政委員会 (1) 本連盟の年間財政計画と長期財政計画と、その推進に関する事項 (2) 本連盟の資金造成とその維持及び増資に関する事項 (3) 本連盟の予算・決算に関する事項 (4) その他の財政に関連する事項
特別委員会	第17条 特別委員会は、理事会より委任された任務を行うため、特定部門につき必要の都度設置する。その任務及び期限は、設置の都度理事会より指示する。
議決の効力	第18条 各運営委員会及び特別委員会の議決は、その決定を理事会より委任された場合を除き、すべて理事会の承認を得てその効力を発生する。

## 第4章 役員及び委員



役員の種別 及び人数	第19条 本連盟の役員は次のとおりである。 1、連盟長 1名 2、副連盟長 若干名 3、理事長 1名 4、副理事長 若干名 5、理事 (1) 地区代表理事 各地区1名 (2) 学識経験者理事 若干名 6、県コミッショナー 1名 7、県副コミッショナー 若干名 8、名譽会議員 若干名 9、監事 2名 10、名譽役員 若干名	監 事 第30条 監事は総会において選出する。任期は2年とし再任を妨げないが他の役員を兼ねることはできない。
連 盟 長	第20条 連盟長は、理事会の発議により総会において推挙する。連盟長は本連盟を総理する。	名譽役員 第31条 本連盟は、理事会の決議により名譽役員として、顧問・相談役及び参与等をおくことができる。任期は3年とし再任を妨げない。
副連盟長	第21条 副連盟長は、理事会の発議により総会において推挙する。副連盟長は連盟長を補佐し、その事故あるとき、または欠員のときこれを代理する。	長老・先達 第32条 連盟長は、教育、指導面に特に功績顕著であった者に対し、理事会の推薦により長老あるいは先達の称号を贈ることができる。 長老及び先達の礼遇は県連盟役員に準ずる。
理 事 長	第22条 理事長は、理事の互選により就任する。理事長は理事会の議長となり、本連盟を代表するとともにその業務を総理する。 任期は2年とし再任を妨げない。	役員 第33条 役員は、理事の死亡または辞任によって欠員が生じた場合は、地区代表理事においては1ヶ月以内に補充し理事会の承認をもとめる。ただし、他の役員については理事会が必要と認めた場合は補充する。
副理事長	第23条 副理事長は、理事の互選により就任する。副理事長は理事長を補佐し、その事故あるときまたは欠員のときこれを代理する。 任期は2年とし再任を妨げない。	役員 第34条 役員はすべて無給とする。
地区代表 理 事	第24条 地区代表理事は、当該地区の地区委員長があたり本連盟の総会において承認される。地区代表理事は、当該地区を代表し本連盟の運営に参画する。 任期は2年とし再任を妨げない。	第5章 事務局 事務局 第35条 本連盟の事務執行機関として事務局を設ける。事務局には、事務局長及び事務局次長の外、専務に従事する職員をおくことができる。
学識経験者 理 事	第25条 学識経験者理事は、連盟長・理事長・県コミッショナーが合議の上、地区代表理事に諮問した後、総会の承認を経て就任する。 任期は2年とし再任を妨げない。	事務局 第36条 事務局長は理事長が任免する。 第37条 事務局の任務は次の通りである。 1、日本連盟及び本連盟のすべての規定及び方針を遵守し、理事会の決定のもとに本連盟の事務を執行する。 2、理事会・名譽会議及び各種委員会の幹事役となる。 3、事務局の長として、事務局の運営、管理の責に任ずるとともに、理事長の承認を経て事務局職員の任免及び監督指導を行う。 4、事務局長は、県連需品部を監督指導する。
県コミッ シ ョ ナ ー	第26条 県コミッショナーは、連盟長が理事会の議を経て日本連盟に推薦し総長がこれを委嘱する。 任期は2年とし、12月31日に更新するものとし再任を妨げない。 第27条 県コミッショナーの任務は、日本連盟及び本連盟の方針とその規定に従い、本連盟地域内のスカウト運動の基準を維持しその純正な発展を図ることであり、特に次の任務を有する。 1、本連盟の名譽会議を主宰する。 2、地区コミッショナーを指導援助する。 3、地域内に、地区コミッショナーまたはその代行者がいないうときはその任務を代行する。 4、本連盟内の指導者の資質の向上を図る。 5、制服及び記章の正しい着用について監査指導を行う。 6、本連盟地域内の加盟員間の論争を調停する。 7、本連盟の、教育指導面で本連盟を代表するとともに、この意味の代表として日本連盟全国会議議員となる。 8、連盟長及び理事長の相談相手となり、理事会に出席してその議定を助ける。 9、専務局長の業務執行を援助する。 10、本連盟地域内の目的を等しくする他の団体と協力し、良好関係の維持を図る。	事務局 第38条 事務局次長は、理事長が任免する。事務局次長は事務局長を補佐し、事務局長事故あるときはその任務を代行する。
県副コミ シ ョ ナ ー	第28条 県副コミッショナーは、必要に応じて県コミッショナーの推薦により、理事会の議を経て連盟長がこれを委嘱する。 任期は2年とし再任を妨げない。 県副コミッショナーは、県コミッショナーの任務を全般的に補佐し、また、特に与えられた任務を履行する。	給 与 第39条 事務局長、次長及び職員は、理事会の議を経て有給とすることができる。
名譽会 議 員	第29条 名譽会議議員は、総会において選出し連盟長がこれを委嘱する。 任期は2年とし再任を妨げない。	第6章 経 理 資金の管理 第40条 本連盟の資金及び経理は、理事会の指示に従い維持されかつ整理されなければならない。 資金の充足 第41条 本連盟の経理は、本連盟の定める登録料、補助金及びその他の収入をもつてあてる。 ただし、本連盟の定める登録料は総会の承認を経てこれを決定する。
		会 計 年 度 第42条 本連盟の会計年度は、4月1日より翌年3月31日までとする。
		第7章 表 彰 表 彰 第43条 表彰は、有功記章または賞状の贈呈、あるいは授与によりこれを行う。 表彰の種別 とその基準 第44条 本連盟の名をもって贈呈、または授与するものは次の通りである。 1、県連特別有功章 本連盟のスカウト運動に対し、多年にわたり功績のあった加盟員に贈呈する。 2、県連有功章 本連盟のスカウト運動に対し、多年にわたり功績のあった加盟員に贈呈する。 3、県連感謝章 本連盟のスカウト運動に対し尽力した者で本連盟として感謝を表わす者に贈呈する。 4、善 行 章 スカウト精神に基づき、善行を行いスカウトの模範となる者に授与する。 5、善 行 綬 スカウト精神に基づき、スカウトの模範となる善行のあった隊または班に授与する。 6、感 謝 状 本連盟として、感謝の意を表わす者に贈呈する。 7、褒 状 加盟員にして、本連盟として賛賞に値する者に授与する。
		表彰の手續 第45条 地区協議会の申請または本連盟名譽会議自体の発議により、本連盟名譽会議が審議し、理事長に報告

して、日本連盟教育本部に交付手続きを行い、連盟長の名をもって贈呈または授与する。

## 第8章 地区組織

地区組織 第46条 地区組織に関する事項は別に定める。

## 第9章 付 則

日本連盟規定の適用 第47条 本連盟の規約にない条項等については、すべてボーイスカウト日本連盟規定による。

規約の改正 第48条 この規約の改正は、総会において出席議員の3分の2以上の同意を得た上、日本連盟の承認を受けて効力を発生する。ただし、各条項の本旨及び内容を変更することなく文体を変更し、または字句を加除修正しようとするときは、理事会の決議による。

施行 第49条 本規約は、昭和52年5月15日より改正施行する。

昭和38年4月21日 改正

昭和43年4月21日 一部改正

昭和44年2月2日 一部改正

昭和52年5月15日 改正

# 地 区 組 織

## 第1章 総 則

地区の構成 第1条 加盟登録を受けた地区内のすべての加盟団でその地区を構成する。

## 第2章 地区協議会

設置 第2条 区分された地区ごとに地区協議会を設置する。

目的と責務 第3条 地区協議会の目的と責務は次の通りである。

- 1、各団の独立と主導性を妨げることなく、その地域のこの運動を保護し隆盛ならしめること。
- 2、各団相互の間及び地域内の同じ目的を有する他の団体と調和的協働を保つこと。
- 3、県連盟の総会、理事会及び各種委員会の採用した方針及びプログラムを地域内に効果的に実施せしめ、かつ、地域の状況及び希望を県連盟に伝達反映すること。

構成 第4条 地区協議会の構成は次のとおりである。

- 1、地区協議会長 同副会長
- 2、地区委員長（県連盟の地区代表理事）同副委員長
- 3、地区コミッショナー、地区副コミッショナー
- 4、各運営委員会及び特別委員会の委員長（県連盟の各運営委員会及び特別委員会の委員となる）
- 5、事務長
- 6、各団委員長
- 7、各隊の隊長・副長
- 8、その他

## 第3章 地区委員会及び各種委員会

地区役員 第5条 地区協議会は、審議執行機関として地区委員会を設ける。

地区委員会は、地区協議会役員（以下「地区役員」

という）をもって構成する。

地区役員 第6条 地区役員は次の通りである。

- 1、地区協議会長、同副会長
- 2、地区委員長、同副委員長
- 3、地区コミッショナー、地区副コミッショナー
- 4、各委員会委員長
- 5、事務長
- 6、その他

運営委員会 第7条 運営委員会は、地区委員会より委任された任務を下記の区分に従い分担する。

- 1、組織及び拡張に関する事項
- 2、指導者養成に関する事項
- 3、進歩に関する事項
- 4、野営及びその他の行事に関する事項
- 5、健康及び安全に関する事項
- 6、財政に関する事項

## 第4章 役員及び委員

地区協議会長 第8条 地区協議会長は、地区協議会において選出され地区内のスカウト運動を代表する。

地区委員長 第9条 地区委員長は、地区協議会において選出され、地区委員会の議長となり同委員会を主宰する。

第10条 地区委員長は、県連盟年次総会において確認のうえ、県連盟の地区代表理事に就任する。また、地区代表として、地区の意向を県連盟理事会に反映せしめ、理事会の方針及び決定事項を地区に報告する義務を有する。

地区コミッショナー 第11条 地区コミッショナーは、県コミッショナー、地区協議会長及び地区委員長の合議により、県連盟理事会の議を経て連盟長が委嘱する。

第12条 地区コミッショナーの任務は、日本連盟及び県連盟の方針とその規定に従い、地区内のスカウト運動の基準を維持しその純正な発展をはかり、特に次の任務を有する。

- 1、団の構成を助長し、その効果的活動を確保ならしめること。
- 2、地区内のすべての指導者の調和的協働を図ること。
- 3、地区内のすべての指導者訓練を奨励し、すべてのスカウトの訓練を見守ること。
- 4、加盟団を訪問し、指導に関して助言すること。
- 5、登録に関する団審査及び監査に協力すること。
- 6、地区内の目的を等しくする他の団体と協力し、良好関係を維持すること。

地区副コミッショナー 第13条 地区副コミッショナーは、地区コミッショナー、地区協議会長及び地区委員長の合議により、県連盟の理事会の議を経て連盟長がこれを委嘱する。

第14条 地区副コミッショナーは、地区コミッショナーの任務を全般的に補佐し、また、特に与えられた任務を履行する。

運営委員会委員長 第15条 地区協議会は、県連盟の各運営委員会にそれぞれ1名ずつの代表を送る。この代表委員は地区内の加盟員のうちより選出する。

代表委員は、地区委員会の構成員としてこれに参画し、また、地区運営委員会を設置した場合の委員長となりその委員会を主宰する。地区内にそれらの委員会が設置されていない場合は、それらの委員会の機能に関する担当者として奉仕する。

事務長 第16条 地区の事務長は、地区協議会において選出する。事務長は、地区内における事務処理を担当する。

任期 第17条 地区役員及び委員の任期は2年とし再任を妨げない。

制限 第18条 隊指導者は、止むを得ざる場合のほか地区協議会長、地区委員長に就任すべきではない。

登録 第19条 地区役員は、県連盟登録時に登録するものとする。

## 編集後記



光陰矢の如し、いま山口県連盟は30周年を迎えました。  
記念行事として、山口県連盟野営大会も盛大に開催され、  
つづいて記念誌の発行となりました。

幸いすでに発行された20年誌で貴重な戦前からの資料の整理がなされて  
おり、今回の編集は大変幸せでした。戦後再建されて30年を編集の目  
標に、時代の変化と要求に適應すべく記念写真集たるべく内容にと計画し  
ましたが

できあがったものは誠に不十分にして、また不備な点も多々あると思  
いますが、ともあれ30年間を回顧して、スカウティングの反省と躍進のため  
の指針の一つにでもなれば幸いです。

編集委員長	永松省治
委員	河野章二
〃	井関澄雄
〃	永久鉄哉
〃	亀山俊雄

30年のあゆみ

昭和54年11月25日発行

発行者 ボーイスカウト山口県連盟

印刷所 徳山市 はまかわ印刷社